

CHleru

プロジェクターへのPC,書画カメラの投影
と

CaLabo EX v8.0 簡易マニュアル

チエル 株式会社

プロジェクターへのPC,書画カメラの投影 CHieru

プロジェクターへの配信は、プロジェクタ電源をリモコンでONにし、映像切替で映したいソースを選択します。

電源をONにします。



(教卓下部に設置されています)
映したい映像を選択します。



画面と音声の制御

- AV機器を操作して、DVDやビデオ・CDなどの教材をプロジェクトタや学習者PCに提示できます。
- 個別に学習している様子をモニタしたり、音声による指導や添削指導など、個別に指導したりすることができます。

会話レッスンの制御

- ペアやグループで会話・文字チャットさせることができます。

データの制御

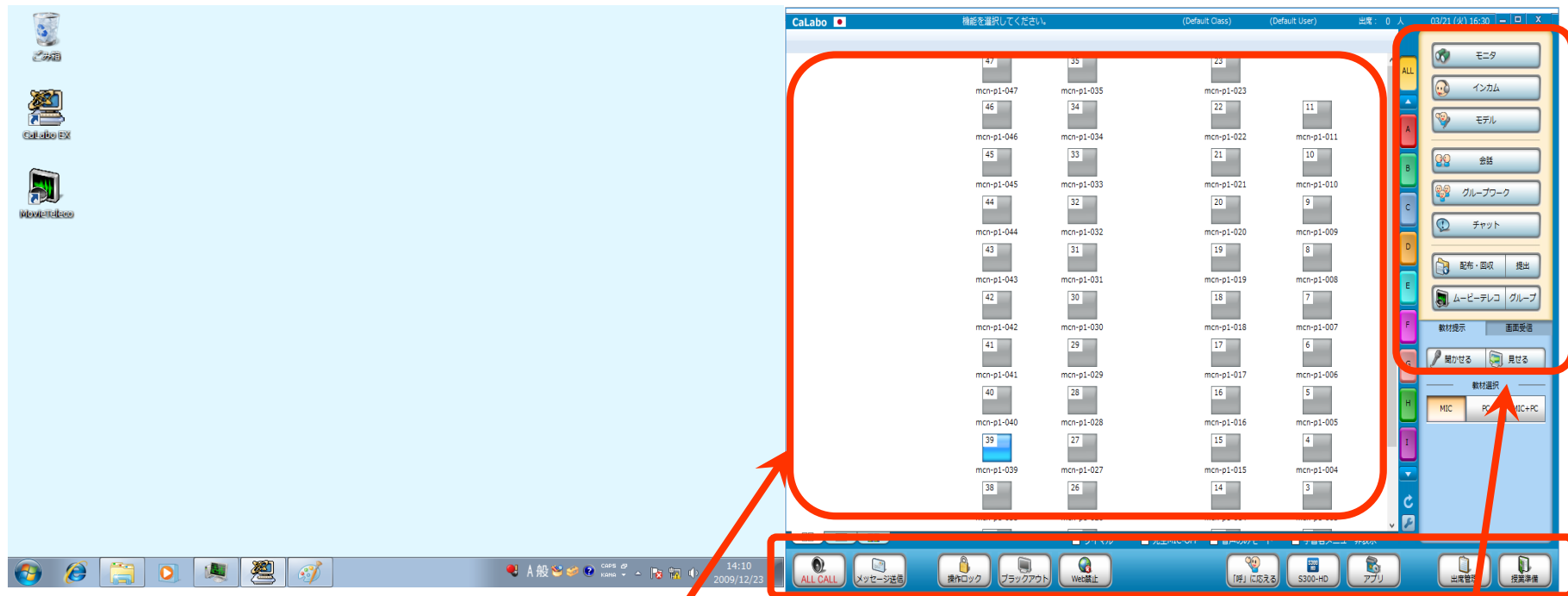
- Wordなどの資料を学習者に見せたり、課題として配布・回収できます。

ムービーテレコ

- 学習者はデジタル教材を利用して、個々のペースで学習することができます。

【先生PC画面】

【コントロール画面】



座席アイコン

機能ボタン

- ・画面は「デュアルモニタ」です。右が学習者PCを制御するための「コントロール画面」、左が先生作業用の「先生PC画面」です。マウスを左右に移動させると、2つの画面を操作できます。
- ・コントロール画面には、左側に教室のレイアウトに合わせた座席アイコン、右側と下部に機能ボタンが並んでいます。授業中は主にコントロール画面を操作します。

機能ボタンの配置

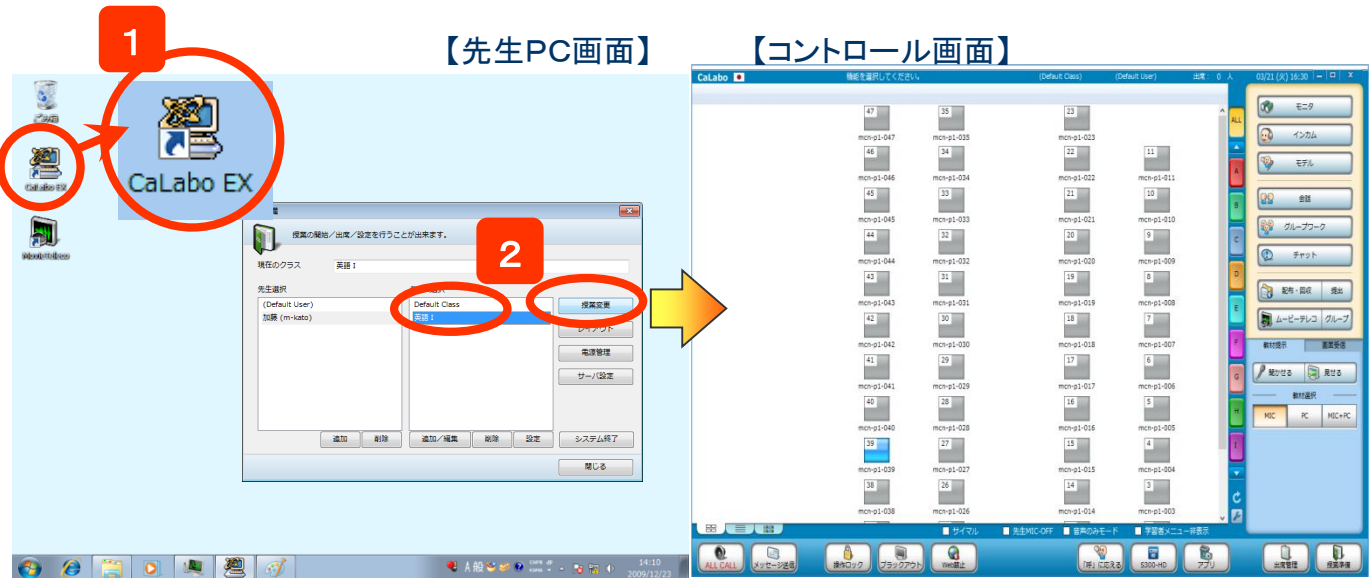
The screenshot shows the CHeru software interface with several key areas annotated:

- 言語切り替え** (Language Switch): Located at the top left, near the CaLabo logo and a language selection dropdown.
- サブメニュー** (Sub-menu): A blue box pointing to the top navigation bar.
- クラスエリア** (Class Area): A blue box pointing to the main grid of student icons.
- 指導** (Guidance): An orange box pointing to the top right toolbar containing buttons for Monitor, In-Cam, and Model.
- 学習者間の活動** (Activities between learners): An orange box pointing to the middle right toolbar containing buttons for Conversation, Groupwork, and Chat.
- 個別学習** (Individual Learning): An orange box pointing to the bottom right toolbar containing buttons for Distribution/Return, Submission, and Mu-Video-Record.
- 教材提示** (Material提示): An orange box pointing to the bottom right toolbar containing buttons for Material提示 and Screen Reception.
- メッセージ** (Message): An orange box pointing to the bottom left toolbar containing buttons for ALL CALL and Message Send.
- 禁止** (Prohibit): An orange box pointing to the bottom center toolbar containing buttons for Operation Lock, Blackout, and Web Prohibit.
- 管理** (Management): An orange box pointing to the bottom right toolbar containing buttons for Attendance Management and Lesson Preparation.

The interface also features a top status bar with '機能を選択してください。' (Please select a function), '(Default Class)', '(Default User)', '出席: 0人' (Attendance: 0 people), and the date/time '03/21 (火) 16:30'. The main area displays a grid of student icons numbered 3 through 47, with icon 39 highlighted in blue. A vertical toolbar on the right side contains buttons labeled ALL, A, B, C, D, F, G, H, I.

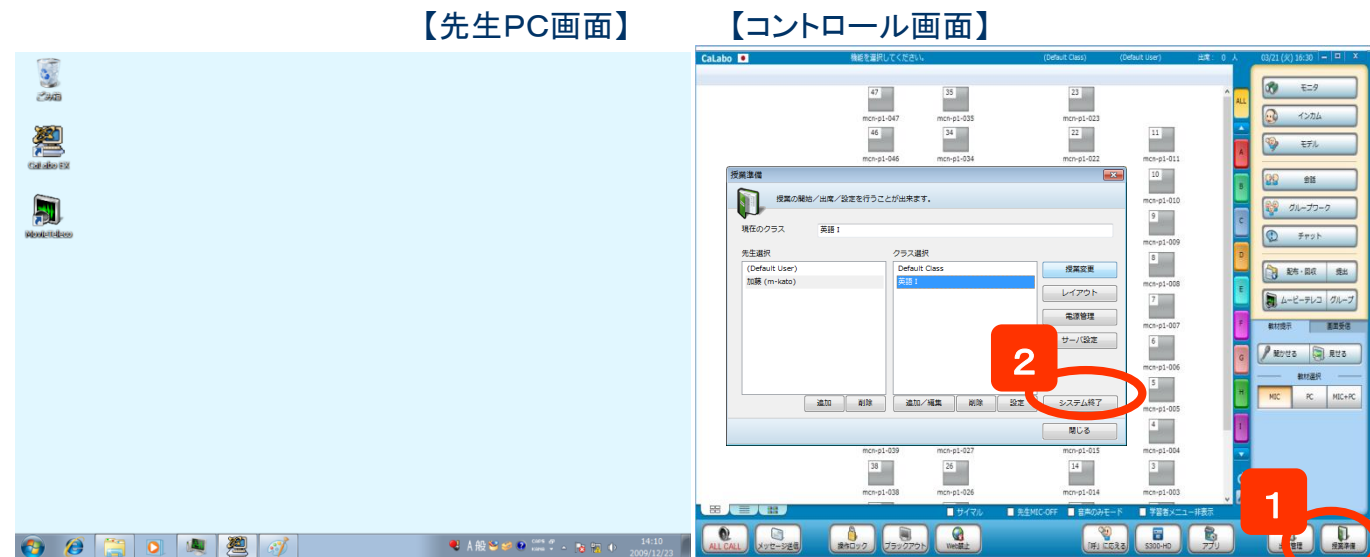
起動

1. デスクトップ上の「CaLabo EX」アイコンをダブルクリック
 2. ダイアログで「Default Class」を選択、[授業開始]ボタンをクリック
- ⇒ 「授業準備」ダイアログがCaLabo EX コントローラが表示されます



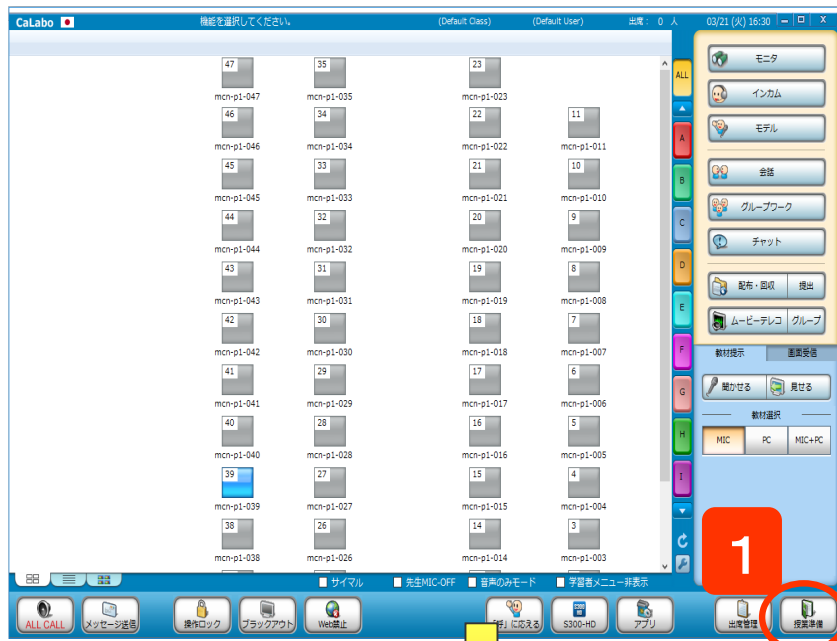
終了

1. [授業準備]ボタンをクリック
 2. ダイアログで[システム終了]ボタンをクリック
- ⇒ 確認メッセージが表示され、[OK]を選択すると、通常のWindows画面にもどります



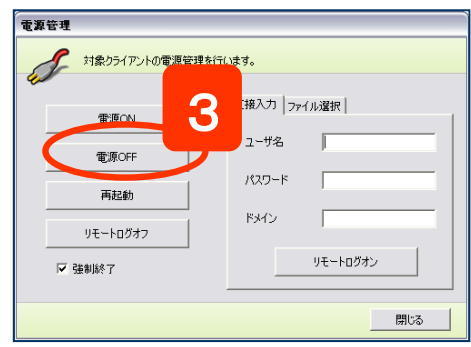
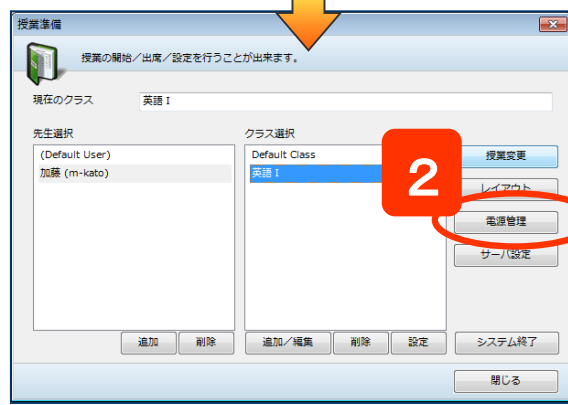
学習者PCの電源管理

CaLabo EX コントローラから 学習者PCの電源を一斉にONすることができます。
他に、「一斉電源OFF」「再起動」「一斉ログオン/ログオフ」もできます。



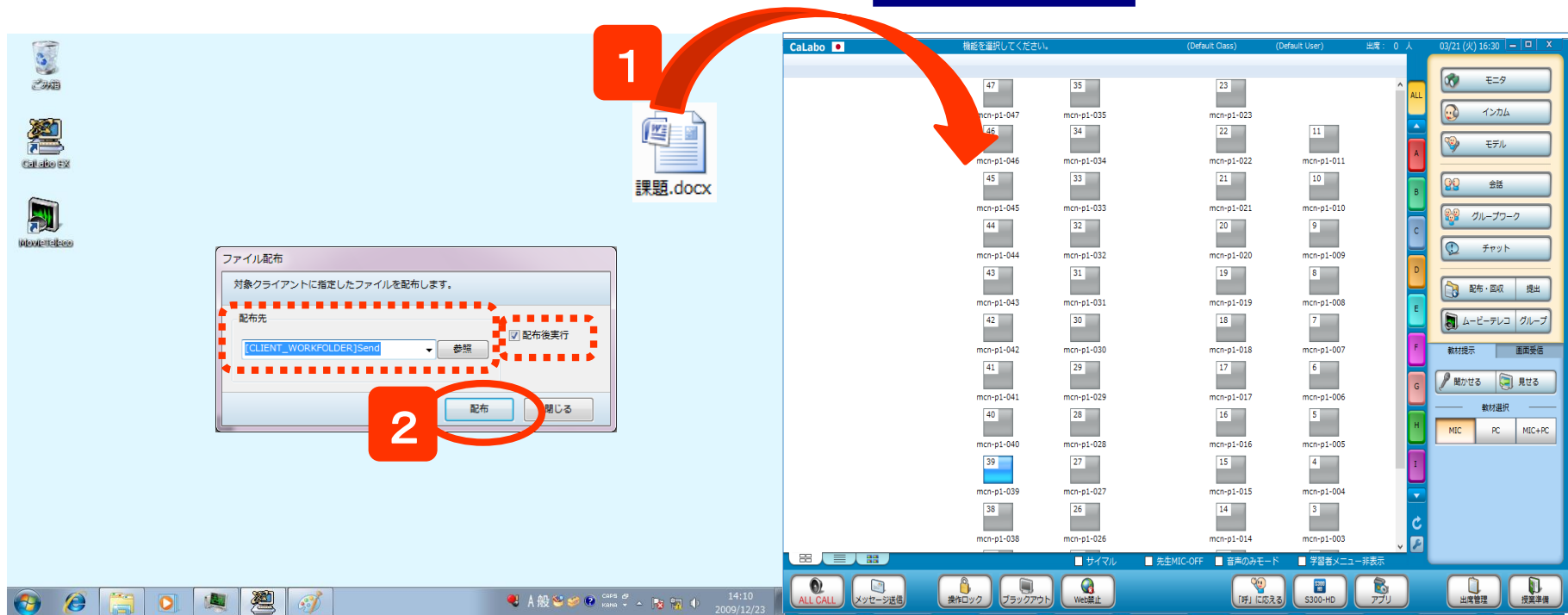
1. [授業準備]ボタンをクリック
⇒ 授業準備ダイアログが表示されます。
2. [電源管理]ボタンをクリック
⇒ 電源管理ダイアログが表示されます。
3. [電源ON]ボタンをクリックします。

※ 一部のPCを対象とする場合は、手順1. の前に対象となる座席アイコンを選択しておきます。
※ 同様の手順で、[電源OFF][再起動][ログオフ]ができます。



課題 (Wordなど) を配布する

ドラッグ & ドロップ



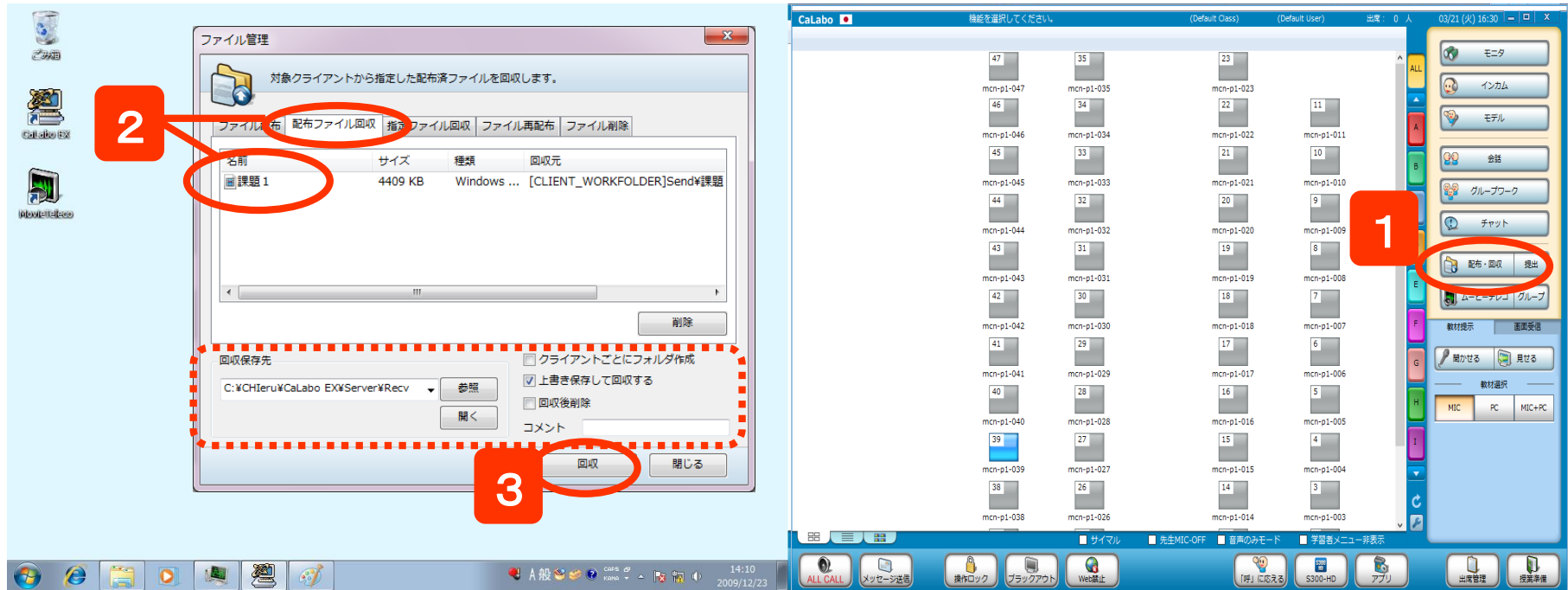
1. 配布したいファイルをクラスエリアにドラッグ & ドロップ
⇒ [ファイル配布]ダイアログが表示されます。
2. 配布先のフォルダを確認して [配布]ボタンをクリック
⇒ 学習者PCにファイルがコピーされます。

※ 「配布後実行」にチェックを入れておくと、配布時に自動的にオープンします。

※ ファイルを選択する代わりにフォルダをドラッグ & ドロップすると、フォルダごと配布できます。

※ 配布後に出席した学習者には、配布済みのファイルリストが表示され、自分で取得できます。

課題 (Wordなど) を回収する



配布したファイルに書き込んだものを回収する方法です。

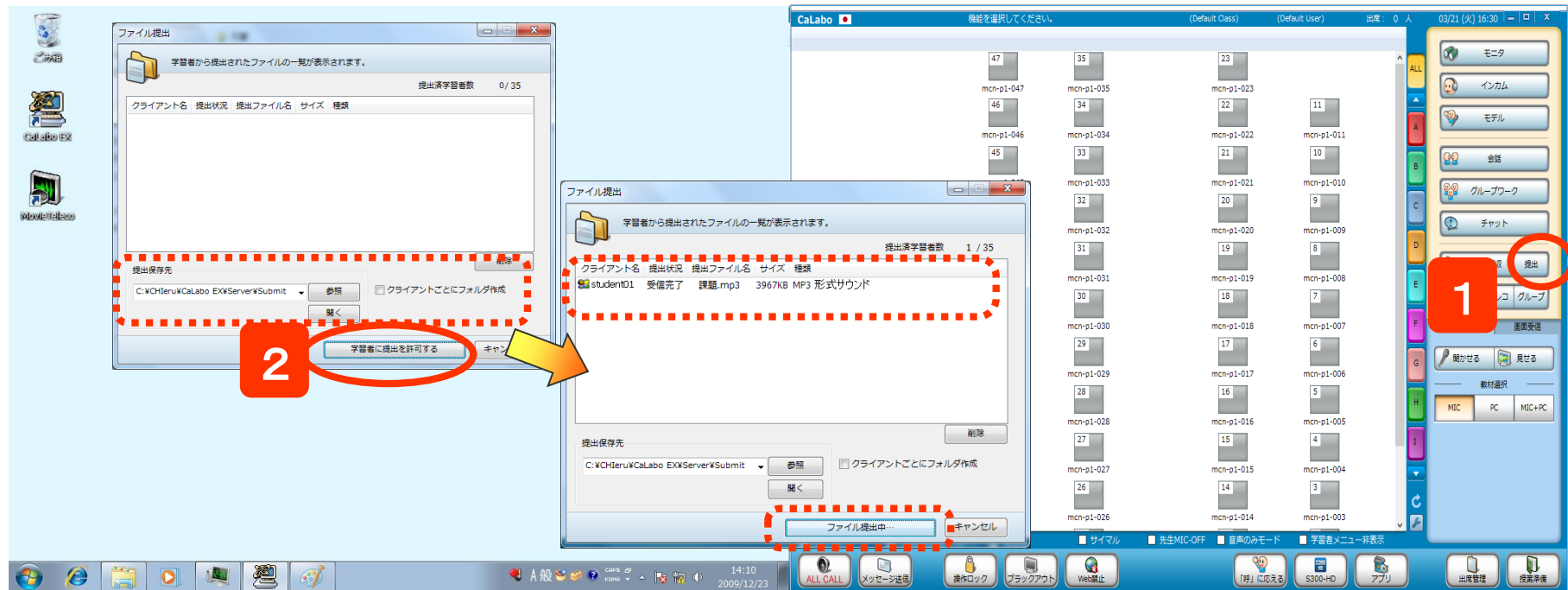
1. [配布／回収] ボタンをクリック
⇒ 「ファイル管理」ダイアログが表示されます。
2. 「配布ファイル回収」タブのファイルリストから回収するファイル(またはフォルダ)を選択
3. 回収したファイルの保存先、回収時のオプションを確認後、[回収] ボタンをクリック
⇒ 指定したフォルダにファイル(またはフォルダ)が回収されます。

※ 回収時のオプションとして、

①学習者ごとのフォルダを作成する, ②回収時に強制的に上書き保存するか, ③回収後に学習者のファイルを削除するかを指定できます。

※「コメント」欄に入力したコメントは、「再配布」時にリストに表示されます。

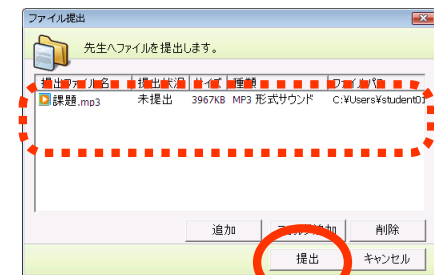
課題 (Wordなど) を提出させる



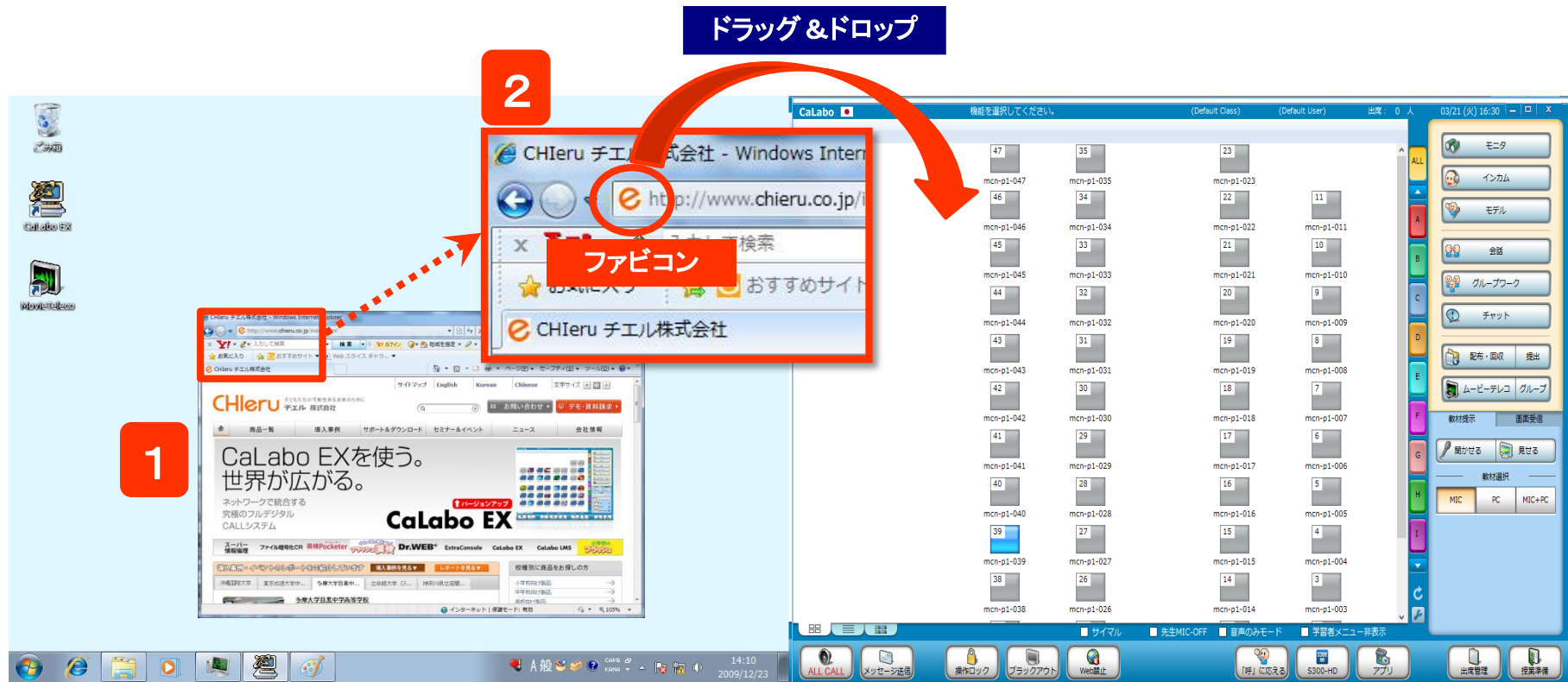
1. [提出] ボタンをクリック
⇒ 「ファイル提出」ダイアログが表示されます。
2. 提出されたファイルの保存先, 提出時のオプションを確認、
[学習者に提出を許可する] ボタンをクリック
⇒ ボタンが[ファイル提出中]に変わり、学習者がファイル提出
操作を完了するとリストに表示されます。

学習者画面

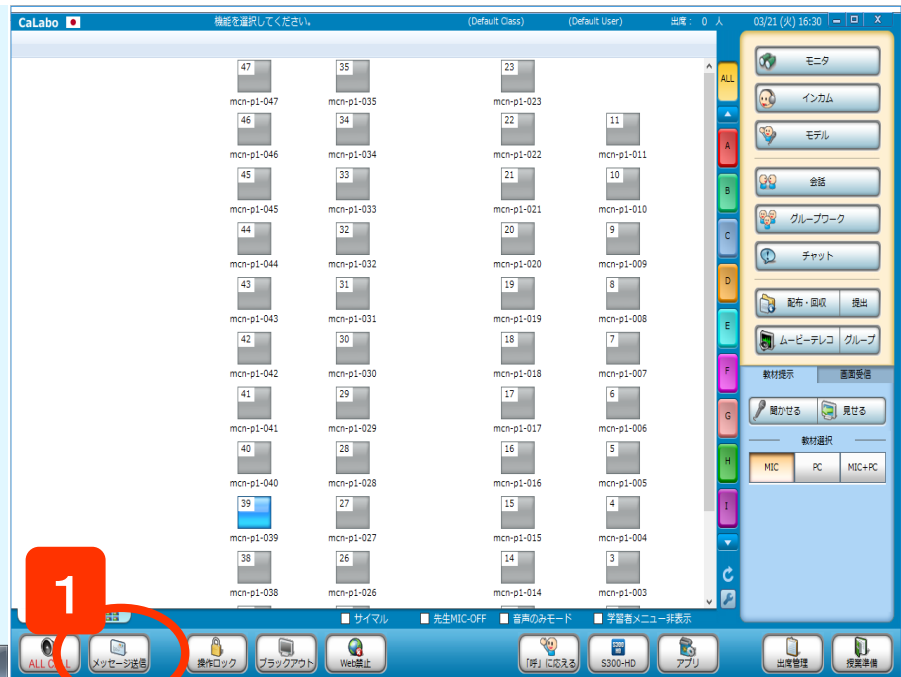
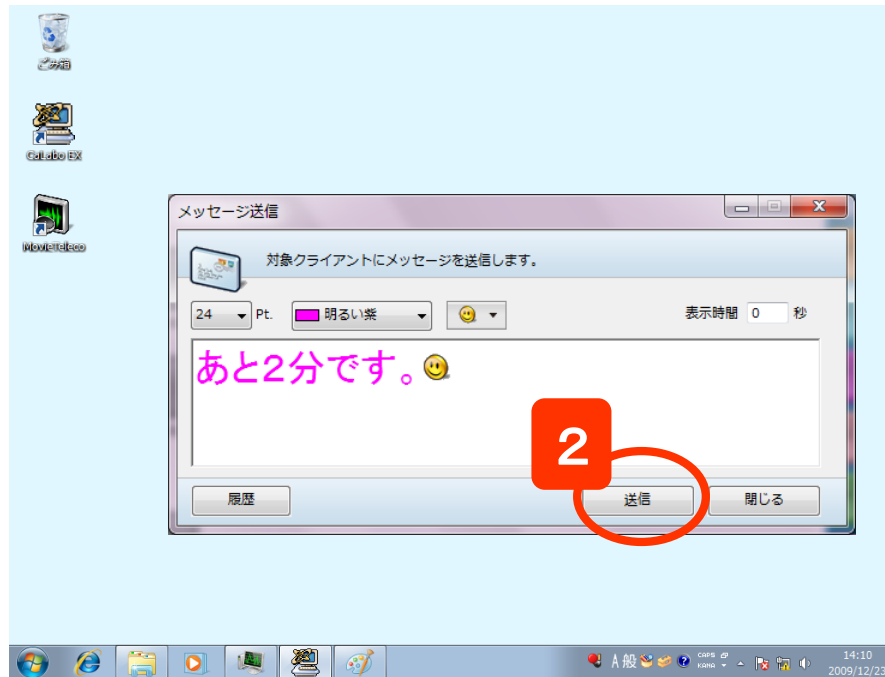
ファイル提出ダイアログに提出したいファイルをドラッグ & ドロップ、ファイルを選択して[提出]ボタンをクリックします



指定のWebサイトを一斉に表示する



1. 一斉起動するWebサイトを先生PCで表示
2. Webサイトのファビコン(URL先頭にあるマーク)をクラスエリアにドラッグ&ドロップ
⇒ 学習者PCに指定したWebサイトが表示されます。



1. [メッセージ送信]ボタンをクリック

⇒ メッセージ画面が表示されます。

2. メッセージ入力ボックスに文字を入力し、[送信]ボタンをクリック

⇒ 学習者にメッセージが表示されます。

※ 一部の学習者にメッセージを送る場合は[メッセージ送信]ボタンをクリックする前に対象となる座席を選択しておきます。

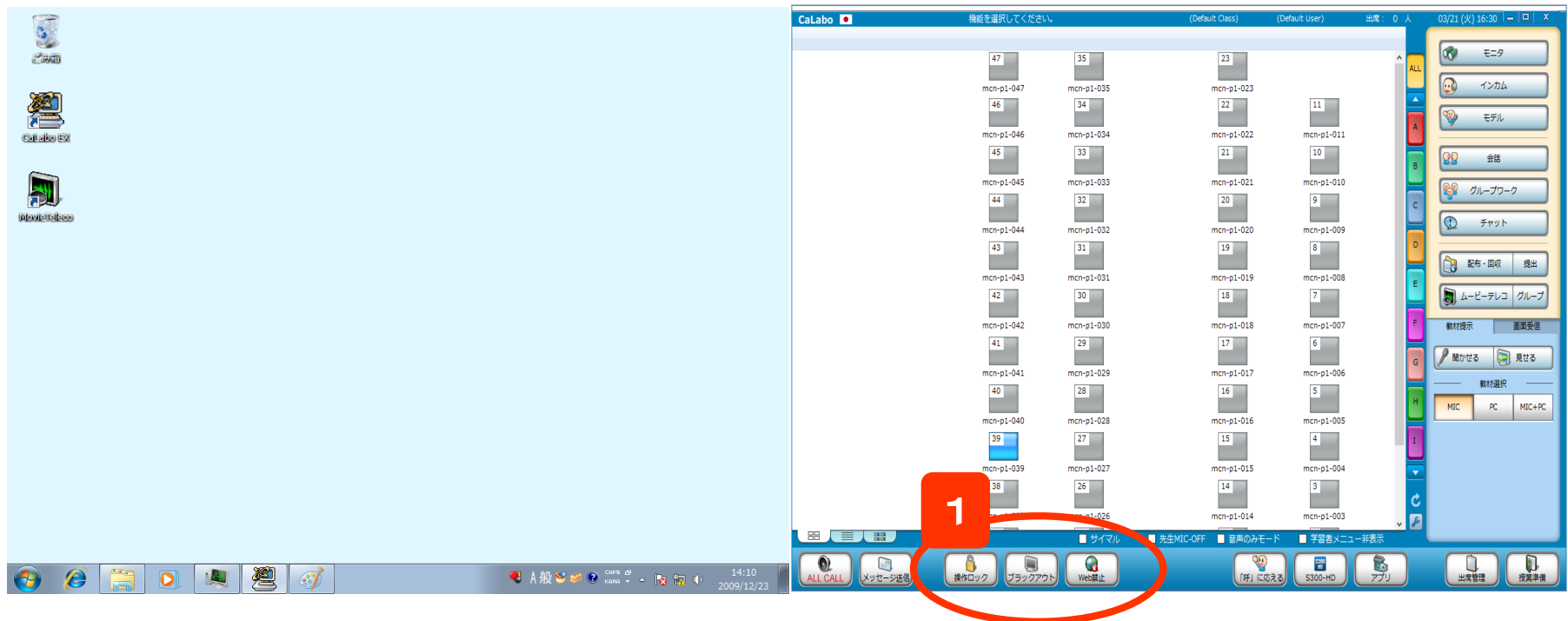
フォントサイズ : メッセージのフォントサイズを変更します。

フォントカラー : メッセージの色を変更します。

エモーティコン(顔文字) :

メッセージ中にエモーティコンを挿入します。

表示時間 : 学習者PCに表示されたメッセージを指定した時間で閉じます。(「0秒」を指定した場合、学習者が自分で閉じるまで表示されたままとなります。)



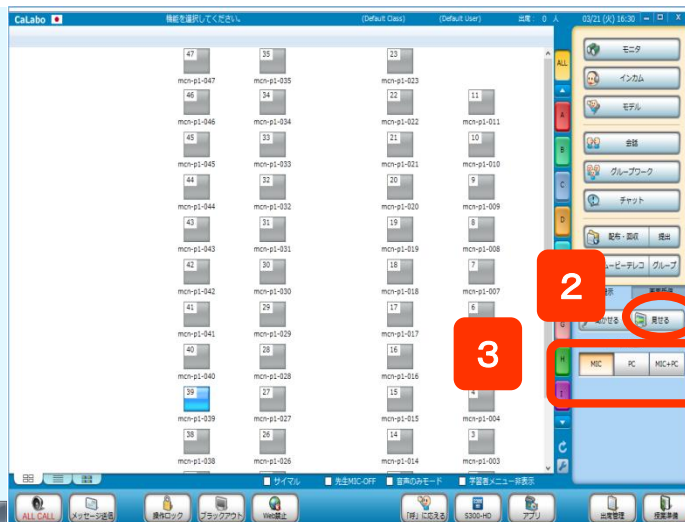
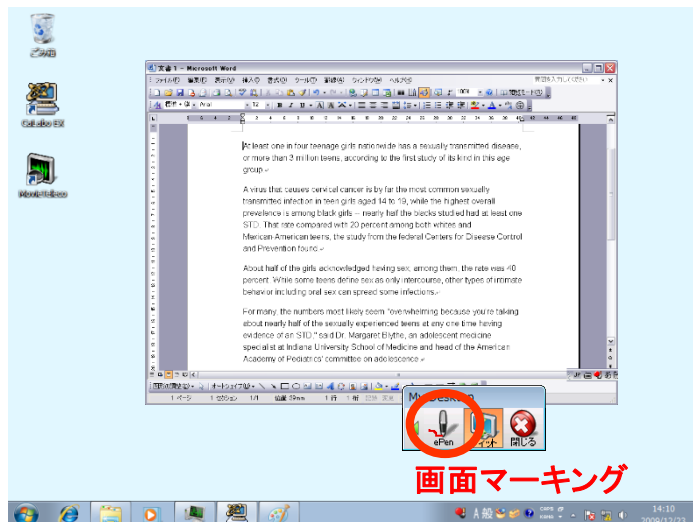
1. [操作ロック] ボタンをクリック
⇒ 学習者のキーボード・マウスが操作できなくなります。
- [ブラックアウト] ボタンをクリック
⇒ 学習者の画面が真っ黒になり、キーボード・マウスが操作できなくなります。
- [Web禁止] ボタンをクリック
⇒ 学習者側で開いていたWebサイトが閉じ、Webブラウザを起動できなくなります。
※ 禁止するブラウザはシステムで設定できます。
2. 解除するには、クリックしたボタンを再度クリック

先生の画面を見せる(聞かせる)

(資料の提示/操作の説明)

1. [見せる]ボタンの上で右クリックして「AVソースをMovieTelecoで表示する」のチェックが外れていることを確認します。

⇒ チェックが入っている場合、チェックを外します。



2. [見せる]ボタンをクリック

※ 同時に[聞かせる]ボタンがONになります

3. 「教材選択」パネルから、聞かせたい音声のボタンをクリック

⇒ 学習者画面に先生画面が表示され、ヘッドセットには選択した入カソースの音声が流れます

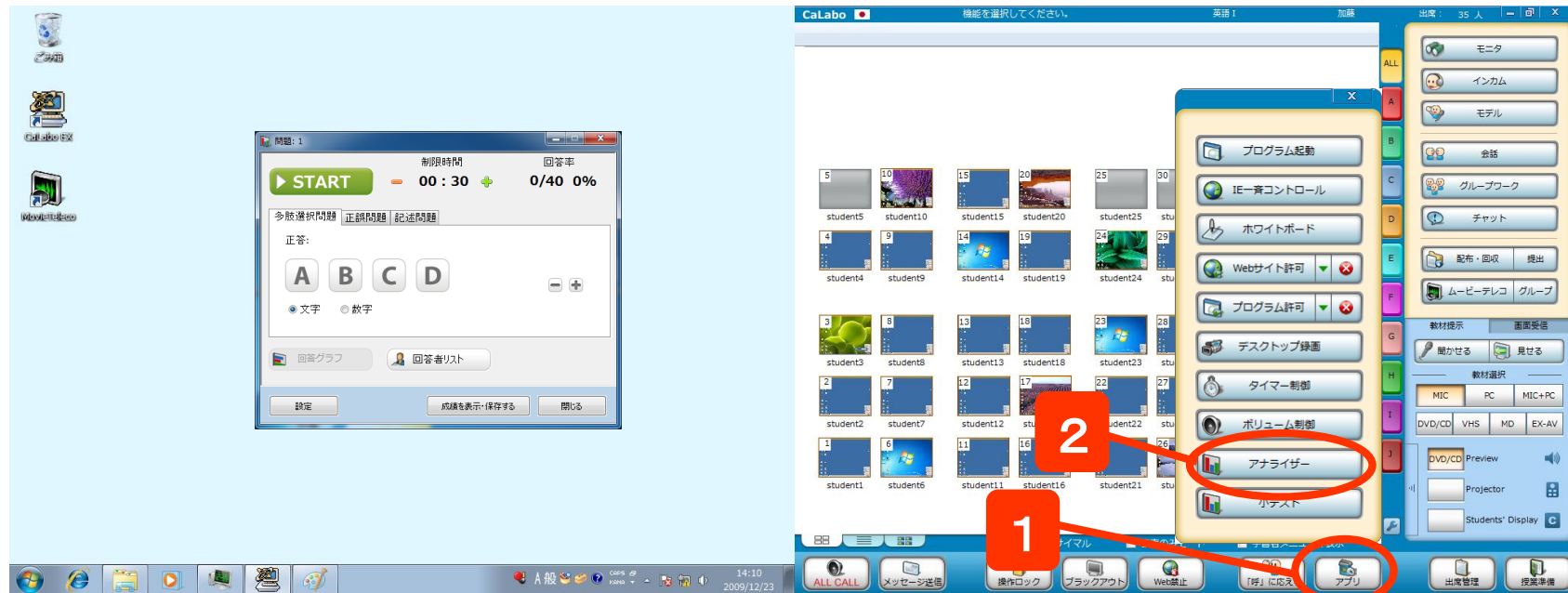
画面マーキング(ePen)



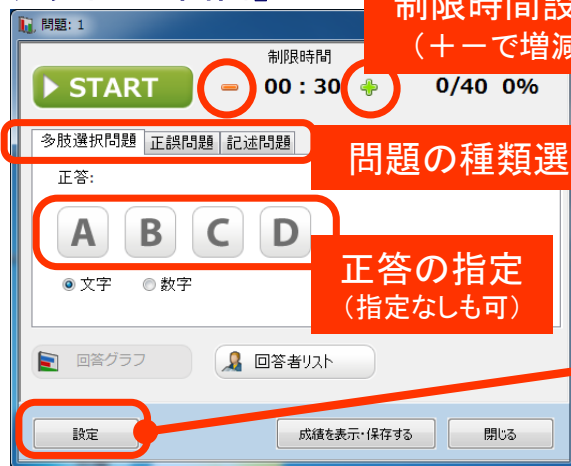
① ② ③ ④ ⑤

- ① マウス操作/マーキング切り替え
- ② 色変更
- ③ 太さ変更
- ④ 描画種類変更
- ⑤ 全消去

アナライザーを起動する



【アナライザー画面】



1. [アプリ]ボタンをクリック
⇒「アプリ」パネルが表示されます。
2. [アナライザー]ボタンをクリック
⇒アナライザー画面が表示されます。

- ・制限時間の既定値(30秒)
 - ・+ボタンの増減値(10秒)
 - ・STOP時に回答グラフを自動で表示(表示しない)
 - ・学習者にも回答グラフを自動で表示(表示しない)
 - ・アナライザー画面終了時、自動でCSV保存(保存する)
(保存先=(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results)
- ※カッコ内は既定値

アナライザーの問題種類と設定

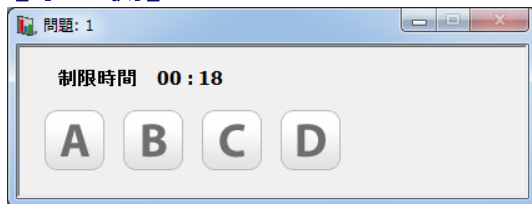
多肢選択問題

【先生側】



- ・選択肢は2～6個([+][−]ボタンで増減)
- ・単一正解
- ・ボタン表記はアルファベット(A～F)または数字(1～6)を指定可

【学生側】



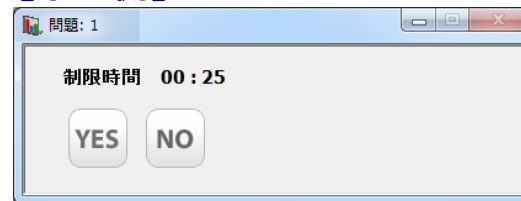
正誤問題

【先生側】



- ・ボタン表記は「Y/N」「✓/×」「○/×」を指定可

【学生側】



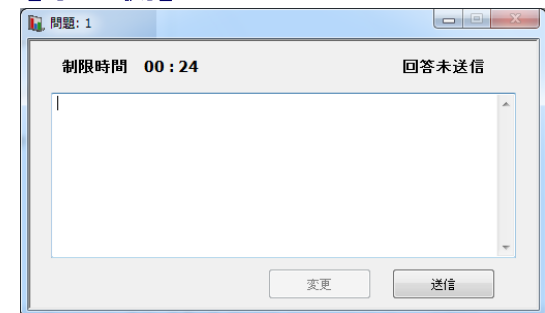
記述問題

【先生側】



- ・正答と「自動で採点する」を指定すると正誤判定可
- ・自動で採点する場合、大文字・小文字を区別するか否かを指定可

【学生側】



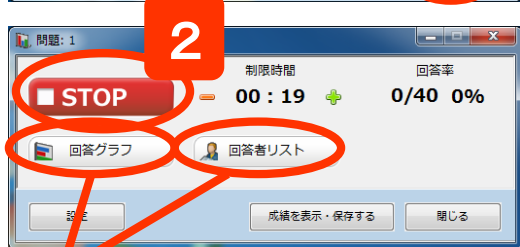
アナライザーを実行する



1. 問題種類, 正答, 制限時間を指定し、[START]ボタンをクリック

⇒ [START]ボタンが[STOP]ボタンに変わり、制限時間のカウントダウンが始まります。「回答率」には出席者数と回答者数、回答した割合(%)が表示されます。
同時に、学習者側にアナライザー回答画面が表示され、学習者の回答を受け付けます。

※ 正答は、問題実行前ではなく、回答受け付けを締め切った後に指定することもできます。
※ 制限時間は、問題実行中でも[+][−]ボタンで変更することができます。



2. 制限時間前に回答受け付けを締め切るには[STOP]ボタンをクリック

⇒ 回答を締め切り、手順1. の画面にもどります。

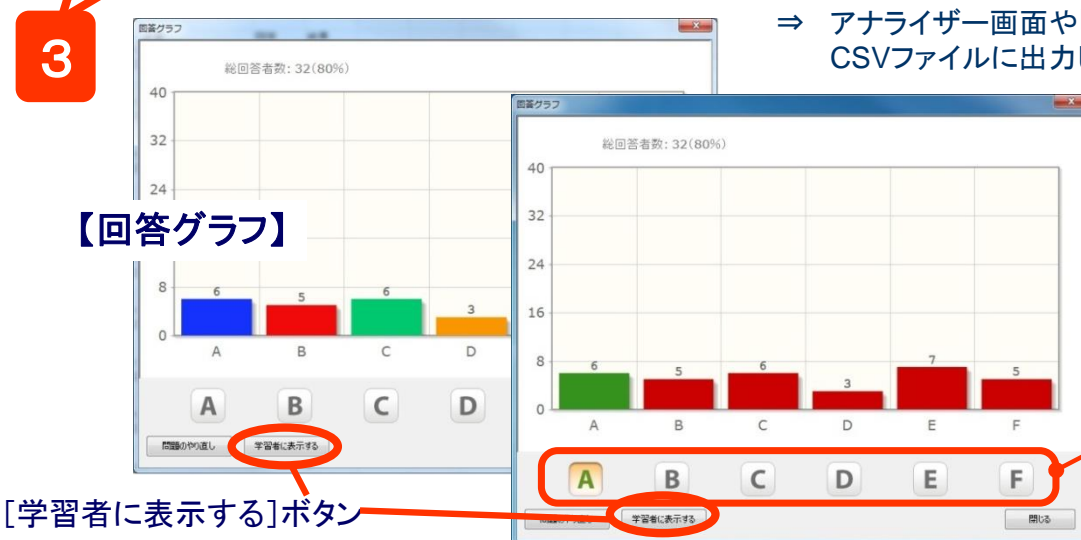
3. [回答グラフ][回答者リスト]ボタンをクリック

⇒ 選択肢ごとの回答者数の棒グラフ(記述問題の場合、回答/未回答数)、学習者ごとの回答内容の一覧を表示します。(回答受け付け中も表示できます。)
[学習者に表示する]をクリックすると、同じ内容を学習者に表示します。

4. アナライザーを終了するには[閉じる](または[×])ボタンをクリック

⇒ アナライザー画面や「回答グラフ」「回答者リスト」を閉じ、開始から終了までの結果をCSVファイルに出力します。

(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results ¥(日付)
¥AnalyzerResults_YYYYMMDD_hhmmss.csv

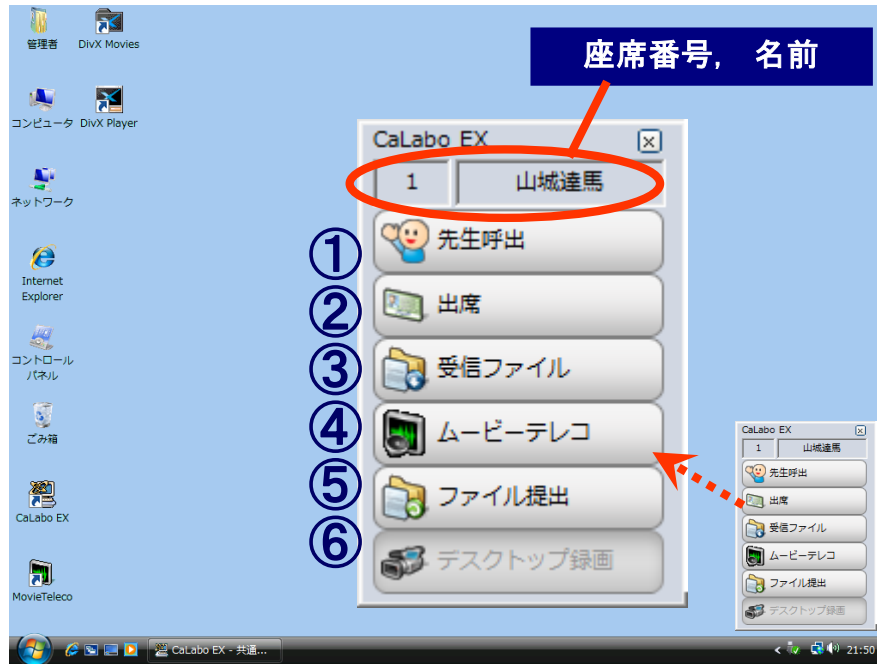


【回答グラフ】

ここで正答を指定・変更できます

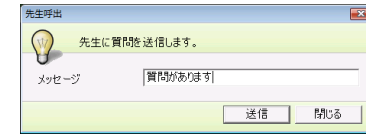
[学習者に表示する]ボタン

学習者PCには「学習者メニュー」がインストールされています。



① [先生呼出] (または [Alt] + [F12] キー)

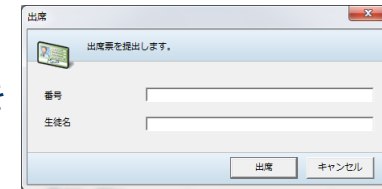
質問があるときなど、先生に知らせることができます。クリックすると「先生呼出」ダイアログが表示されるので、必要であればメッセージを入力し、先生に知らせます。メッセージは入力しなくてもかまいません。



※ [Alt] + [F12] キーを押した場合は、先生呼出ダイアログは表示せず、呼び出していることだけを先生に知らせます。

② [出席] (または [Alt] + [F10] キー)

「出席票」を表示します。座席アイコンに「入力した名前」を表示する設定の場合、名前を入力します。



④ [ムービーテレコ]

ムービーテレコを起動します。

⑤ [ファイル提出]

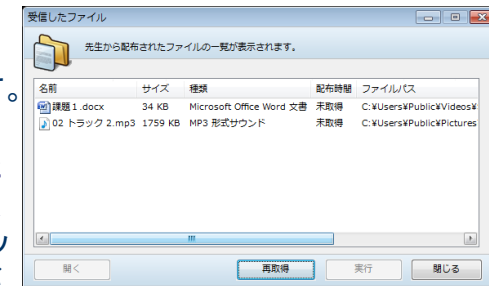
「ファイル提出」ダイアログを閉じてしまった場合、クリックして表示させることができます。(先生が提出許可中のみ有効)

⑥ [デスクトップ録画]

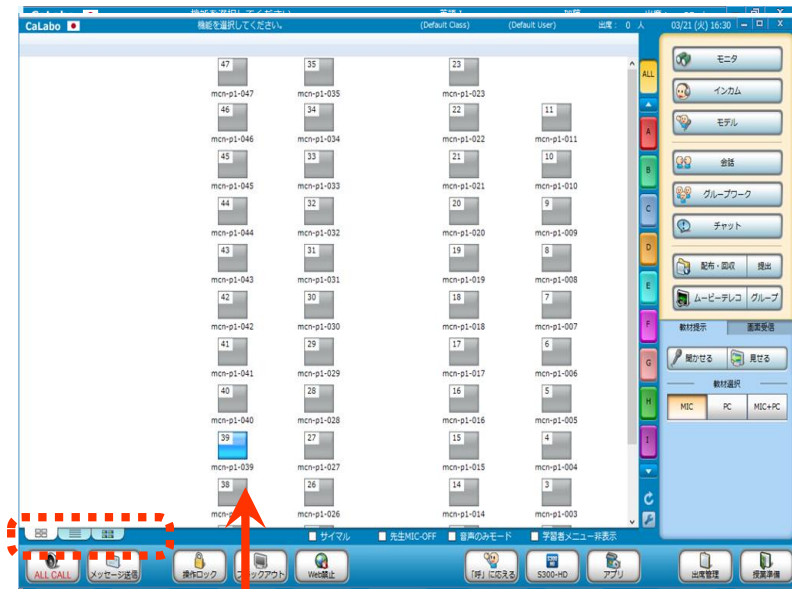
先生が「デスクトップ録画」したファイルを配信した場合、再生することができます。(先生は配信した場合のみ有効)

③ [受信ファイル]

先生から配布されたファイルを確認できます。出席する前に先生がファイルを配布していた場合、自動で表示され、[再取得] ボタンをクリックすると取得することができます。



アイコン表示とサムネイル表示



コントロール画面を起動すると、座席アイコンが表示され、学習者PCの画面が表示されます。(=アイコン表示)

この表示は「座席ビュー切り替えタブ」で「リスト表示」「サムネイル表示」に切り替えることができます。

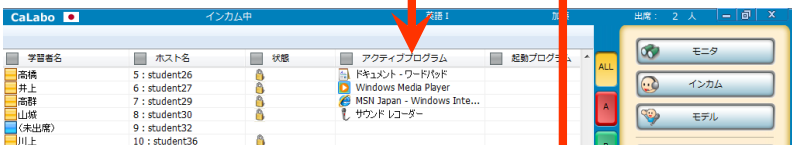
アイコン表示

座席レイアウトどおりにアイコンが並び、1つ1つの座席アイコンには学習者PC画面が表示されます。



リスト表示

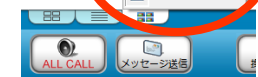
学習者が起動しているアプリケーションを一覧で確認できます。

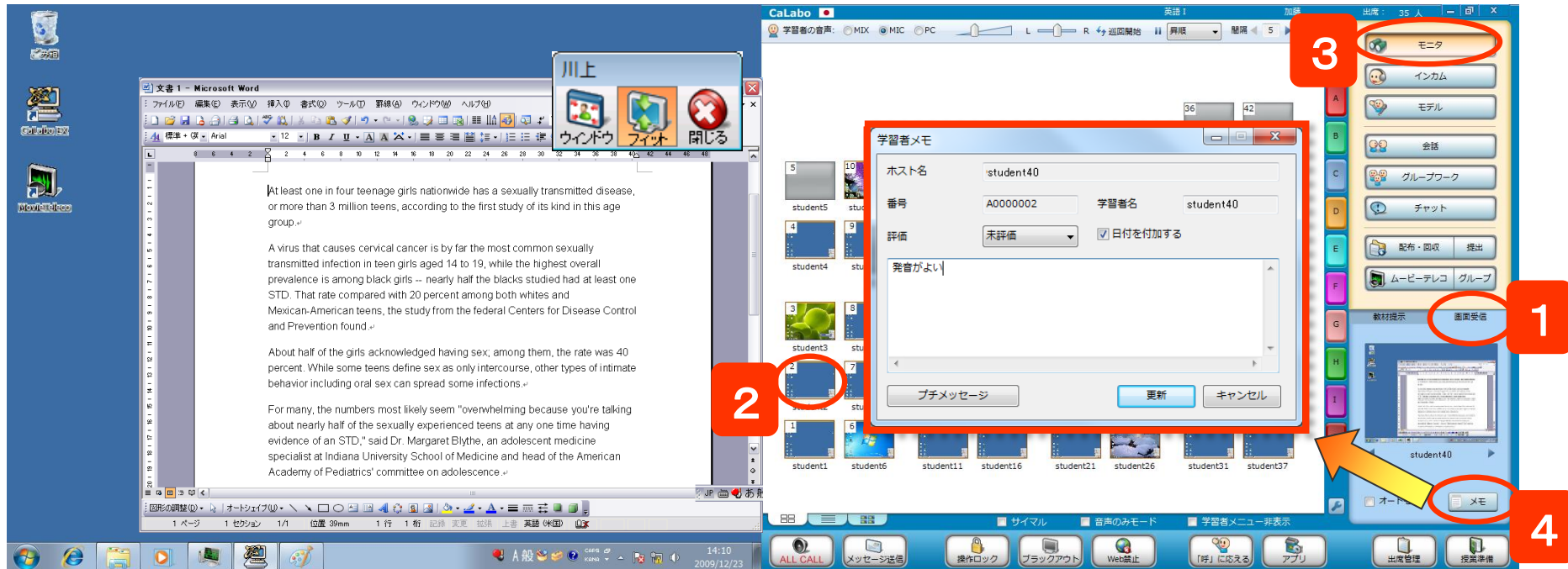


サムネイル表示

出席者全員のPC画面が一覧で表示されます。画面の並びは座席番号順になります。

サムネイル表示タブを再度クリックすると、メニューで画面の大きさを切り替えられます。





1. 「画面受信」タブをクリック

→ 「教材提示」→「画面受信」パネルに切り替わります。

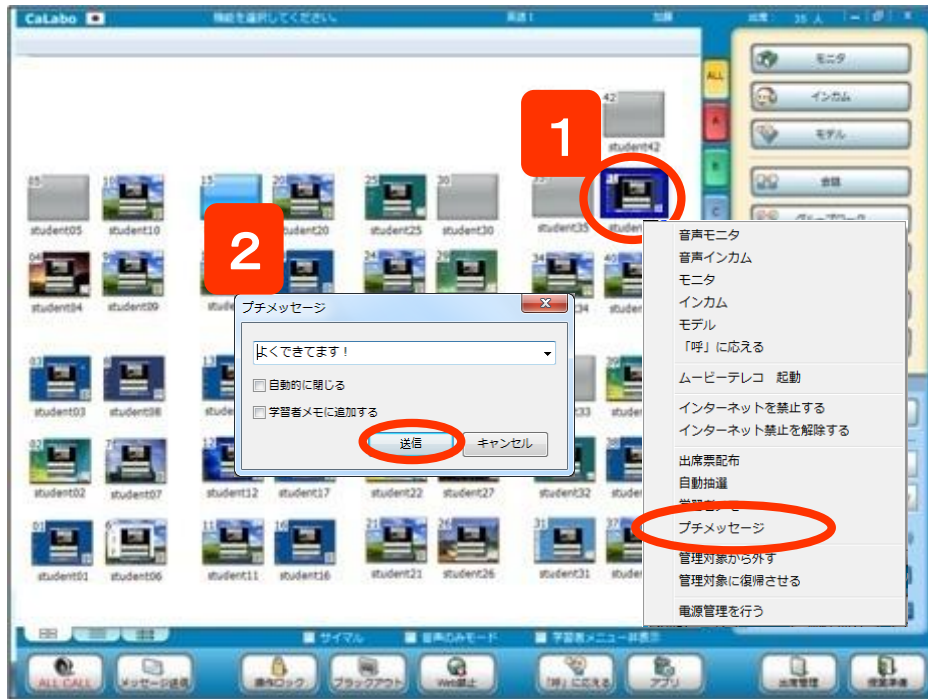
2. モニタしたい座席アイコンを選択(複数選択は不可)

3. [モニタ]ボタンをクリック

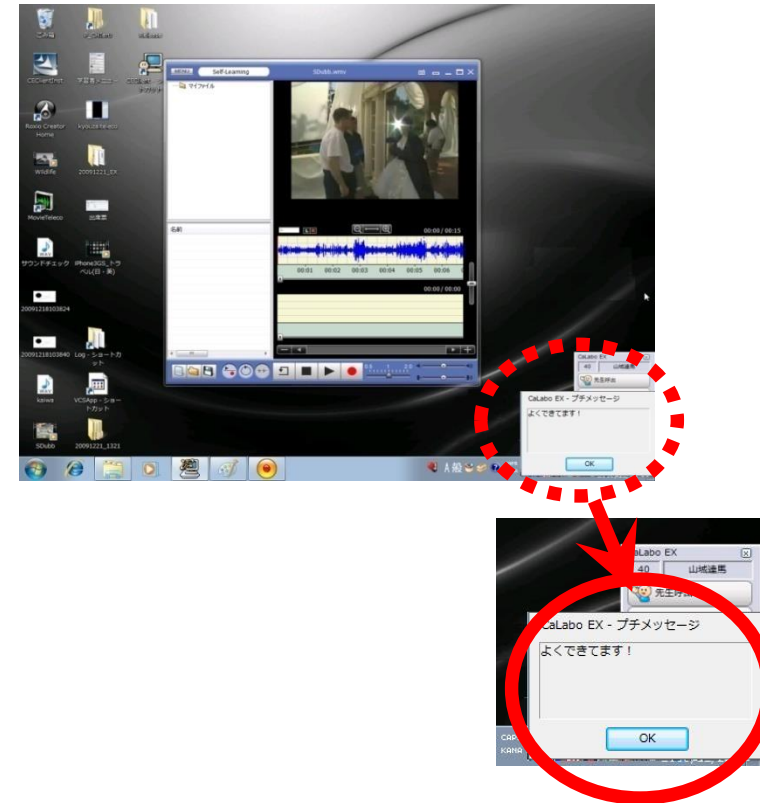
→ 左側の先生画面と画面受信パネルに選択した学習者の画面が表示されます。

4. [メモ]ボタンをクリック

→ 「学習者メモ」ダイアログが表示され、評価やコメントをつけることができます。
出席履歴データに出力されます。



【対象の学習者画面】



1. メッセージを送る座席で右クリックし、表示されるメニューから「プチメッセージ」を選択
⇒ プチメッセージ画面が表示されます。
2. メッセージ入力ボックスに文字を入力し、[送信]ボタンをクリック
⇒ メッセージを送った学習者の画面右下に送ったコメントが表示されます

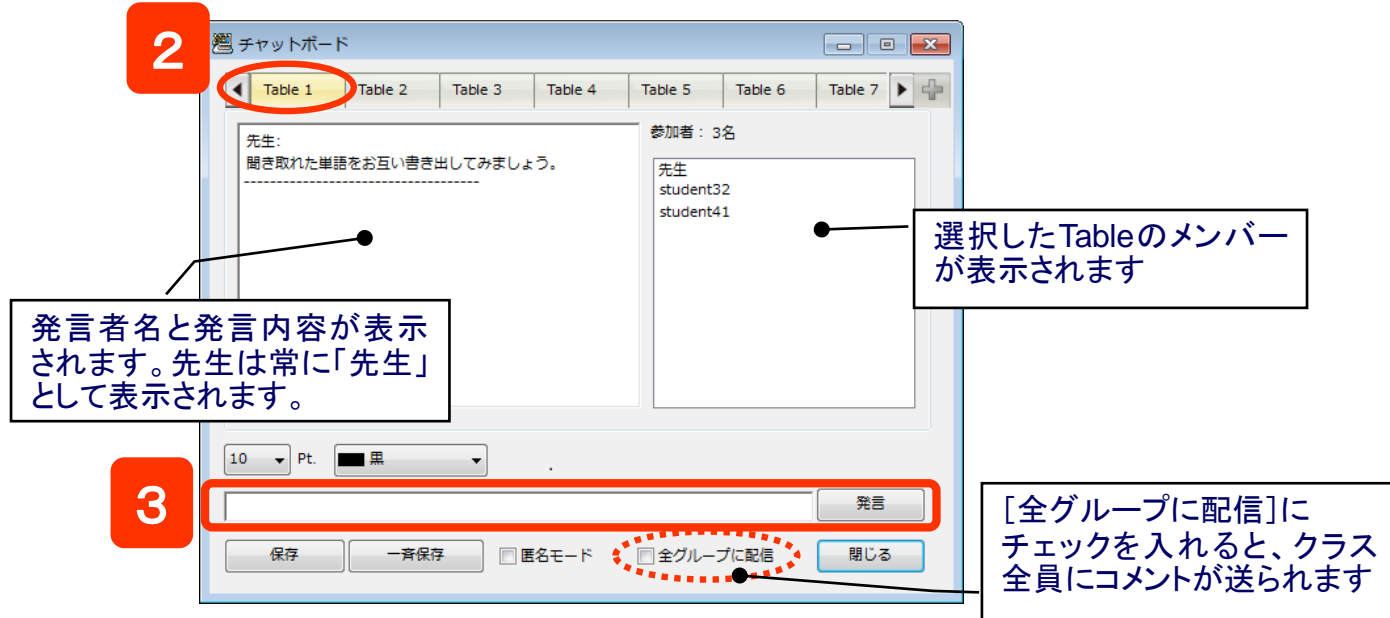
学習者の集中を妨げないように、画面右下にメッセージが表示されます

ペアやグループでチャットをさせる場合、あらかじめ[会話]や[グループワーク]で学習者を組んでおく必要があります。

※ペア・グループに分けずに実行すると、クラス全員でのチャットになります。



先生チャットボード



1. [チャット]ボタンをクリック

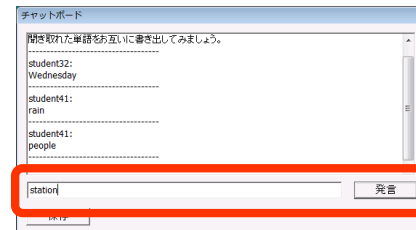
⇒ 先生画面と学習者画面にチャットボードが起動します。

2. 対象Tableをクリック

3. コメントを入力し[発言]ボタンをクリック

⇒ 選択しているTableの学習者にコメントが送られます。

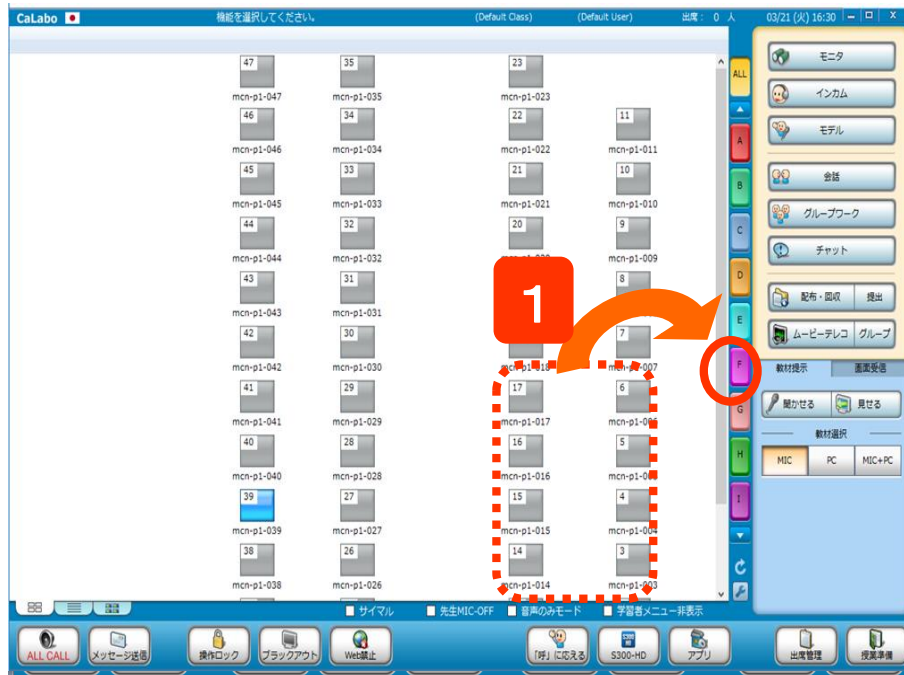
学習者チャットボード



先生と同様に、コメントを入力して発言ボタンをクリック
⇒チャットボードに書き込まれます

グループの作成

学習者をグループに分け、グループ分けに名前をつけて保存しておくことができます。
グループワークやホワイトボードを開始する前に、あらかじめグループを作っておく必要があります。



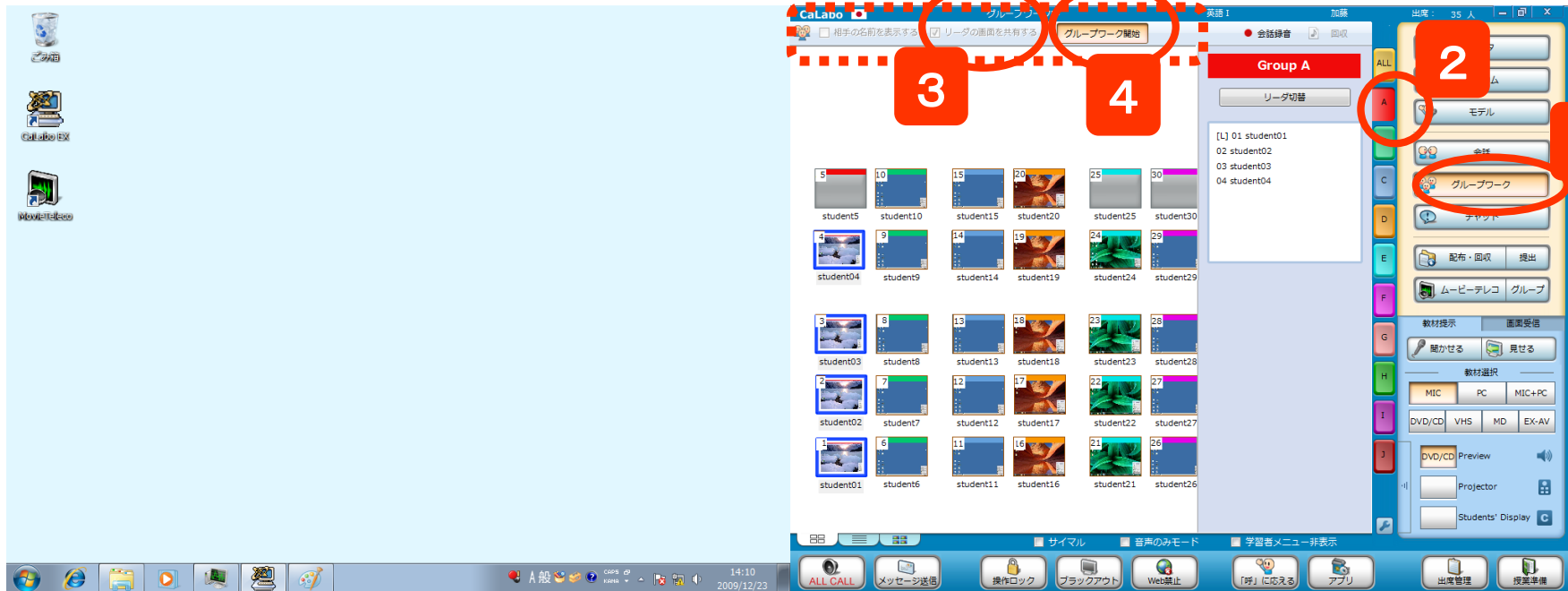
1. 座席アイコンをドラッグしてグループボタン上でドロップ

⇒ 座席アイコンの上部がグループの色に変わります。
※ 同様の手順で学習者をグループに分けます。

2. [設定]ボタンをクリックし、メニューで「現在の状態を保存する」をクリック

※ いったんグループに入れた学習者を別のグループに入れるには、別のグループにドロップし直します。
※ 座席アイコンを「ALL」にドロップすると、どのグループからも外れます。





1. [グループワーク] ボタンをクリック

⇒ クラスエリアにグループエリアが表示されます。

2. グループボタンをクリック

⇒ グループのメンバーが表示され、座席番号が一番小さい学習者の先頭に[L]マークが表示されます。画面を共有させる場合、[L]マークの学習者画面を共有します。変更したい場合は、画面共有者をクリックし、[リーダー切替] ボタンをクリックします。

3. (画面共有させる場合)、サブメニューの「リーダーの画面を共有する」にチェック

4. [グループワーク開始] ボタンをクリック

⇒ 各グループでリーダーの画面を共有し、会話ができる状態になります。

学習者画面

リーダー以外の学習者画面には下のボタンが表示され、クリックしてONにすると、リーダーの画面を操作できる状態になります。



1人ずつモニタリング

サブメニューの「学習者の音声」でモニタリング音声を切り替えたり、音量を調整することができます。
MIC:学習者のマイク音声, PC:学習者のPC音声, MIC+PC:学習者のマイクとPCの音声



学習者名

サブメニュー

川上

ウインドウ

フィット

閉じる

1

2

モニタ

インカム

モデル

会話

グループワーク

チャット

配布・回収

提出

ムービーレコー

グループ

教材提示

画面受信

聞かせる

見せる

教材選択

MIC

PC

MIC+PC

1. モニタしたい座席アイコンを選択(複数選択は不可)
2. [モニタ]ボタンをクリック。

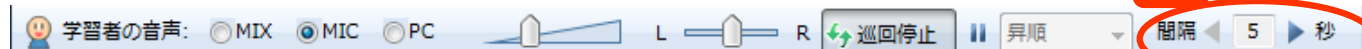
→ 左側の先生画面に、選択した学習者の画面が表示され、補助機能バーのタイトルに学習者名が表示されます。
※ モニタ対象者を変更したい場合は、その座席アイコンを選択します。(複数選択は不可)

サブメニューの「学習者の音声」でモニタリング音声を切り替えたり、音量を調整することができます。

MIC:学習者のマイク音声, PC:学習者のPC音声, MIC+PC:学習者のマイクとPCの音声

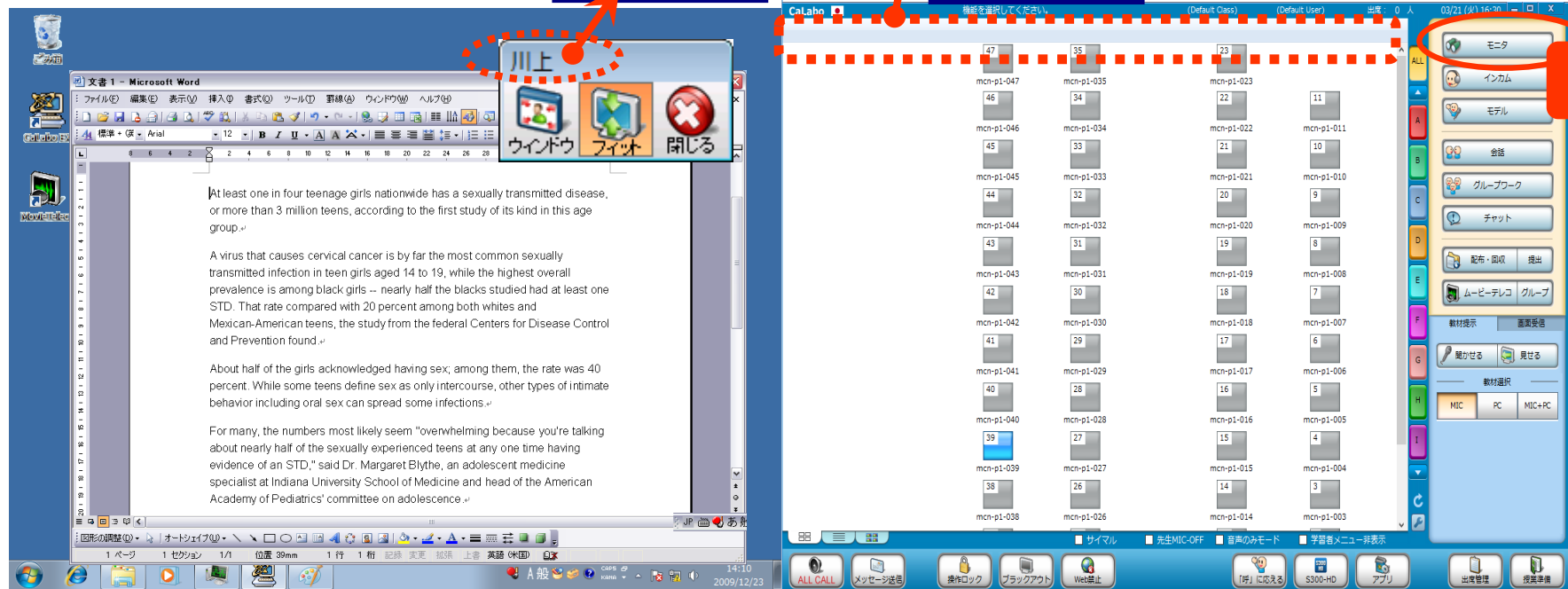
* 次の学習者へ移るまでの秒数を指定したい場合

サブメニュー「間隔」の◀▶をクリックします。(5 ~ 20秒)



学習者名

サブメニュー



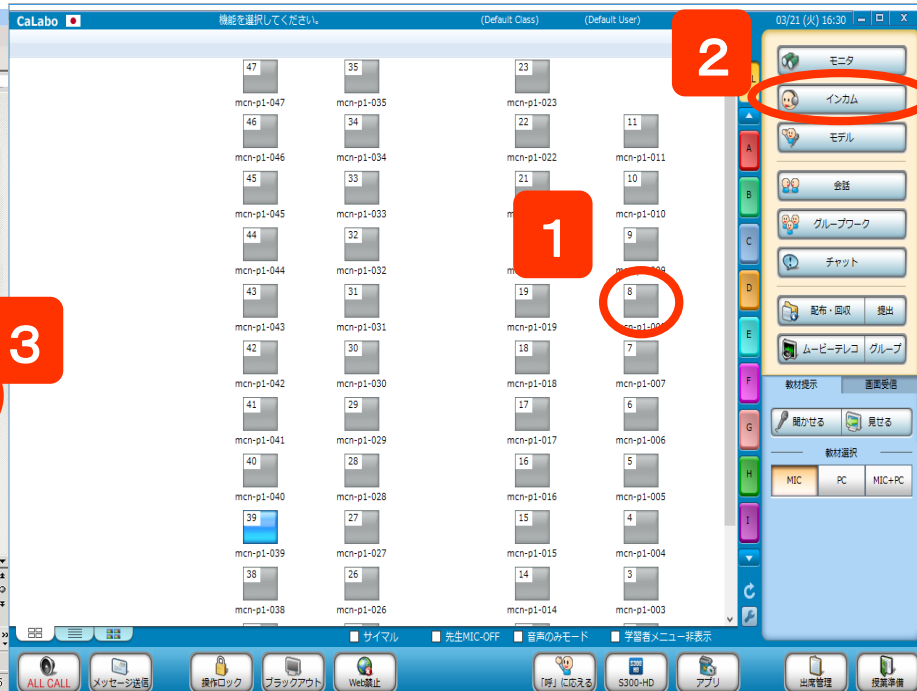
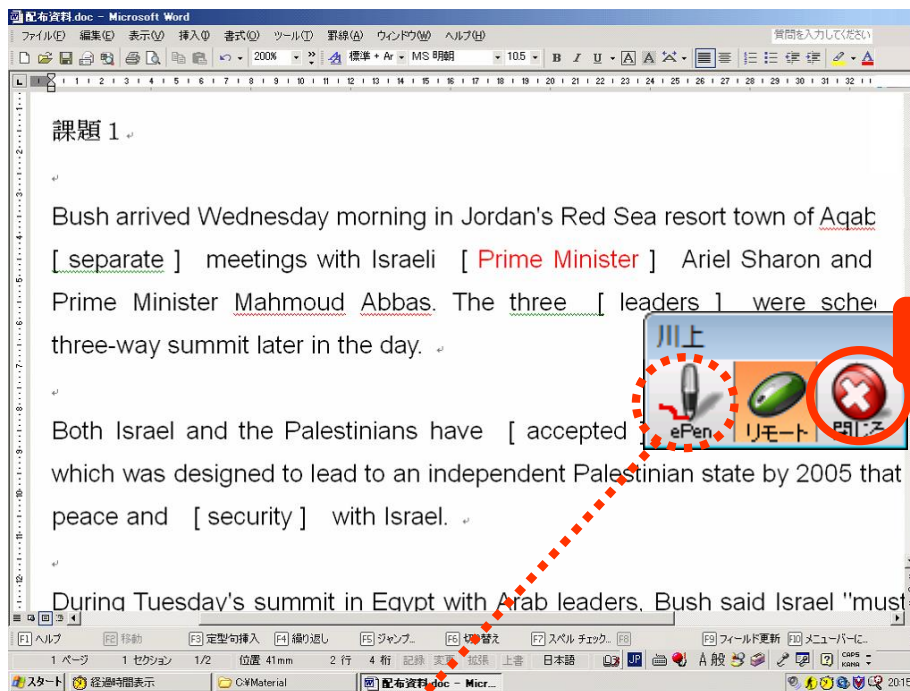
1. [モニタ]ボタンをクリック

→ 左側の画面に、座席番号順に学習者画面が表示され、補助機能バーのタイトルに学習者名が表示されます。一定時間経つと、次の学習者へ移ります。

※ [モニタ]をクリックする前に複数の座席を選択しておく、それらの座席を順番に表示します。

個別指導

(1対1の通話／先生による添削指導)



画面マーキング(ePen)



- ① マウス操作／マーキング切り替え
- ② 色変更
- ③ 太さ変更
- ④ 描画種類変更
- ⑤ 全消去

① ② ③ ④ ⑤

※ 手順1, 2. の代わりに、座席アイコンをダブルクリックしても [インカム] 状態になります。

1. 添削したい学習者をクリック

2. [インカム] ボタンをクリック

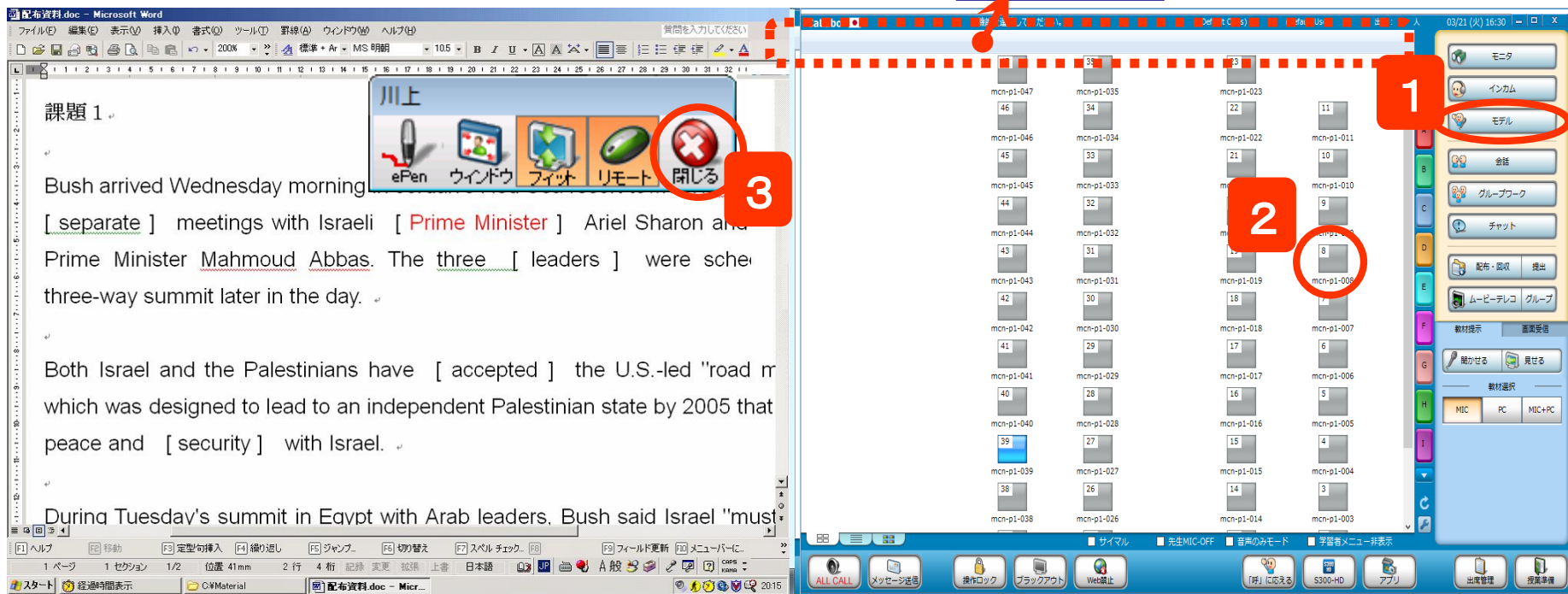
→ 左画面に学習者画面が表示され、直接操作できます。

※ 先生ヘッドセットでは、サブメニューの「学習者の音声」で選択中の音声聞こえます。

→ 対象者を変更するには次の座席アイコンをクリックします。

3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック、または再度 [インカム] ボタンをクリック

1人に発表させる (発表／全員の画面に映して添削指導)



1. [モデル]ボタンをクリック

2. 発表させたい学習者をクリック

⇒ 左の先生画面と学習者全員に発表者画面が表示されます。先生は発表者画面を直接操作できます。
※ サブメニューの「学習者の音声」で選択した音声を全員に聞かせることができます。

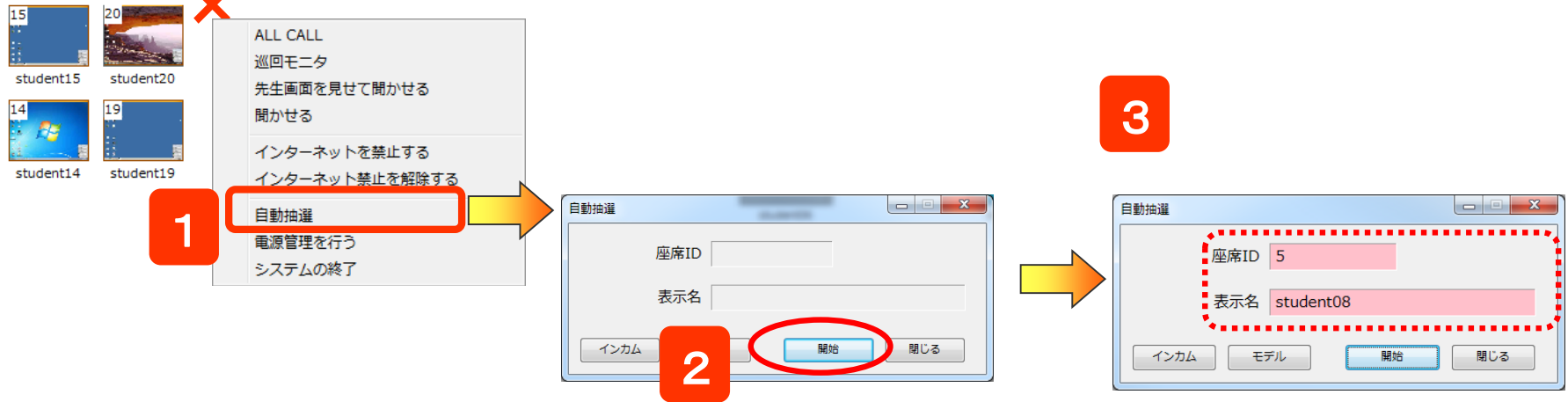
⇒ 発表元の画面をWindowサイズで表示するには補助機能バーの[ウインドウ]をクリックします。

⇒ モデル元を変更するには、別の座席アイコンをクリックします。

3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック または 再度 [モデル] ボタンをクリック

※ 手順1. 2. を逆にすると、発表先を選ぶダイアログが表示され、一部の学習者に対して発表できます。

● 床(座席アイコンのないところ)を右クリック



1. クラスエリアの座席のない部分で右クリックし、表示されるメニューから「自動抽選」を選択
⇒「自動抽選」ダイアログが表示されます。

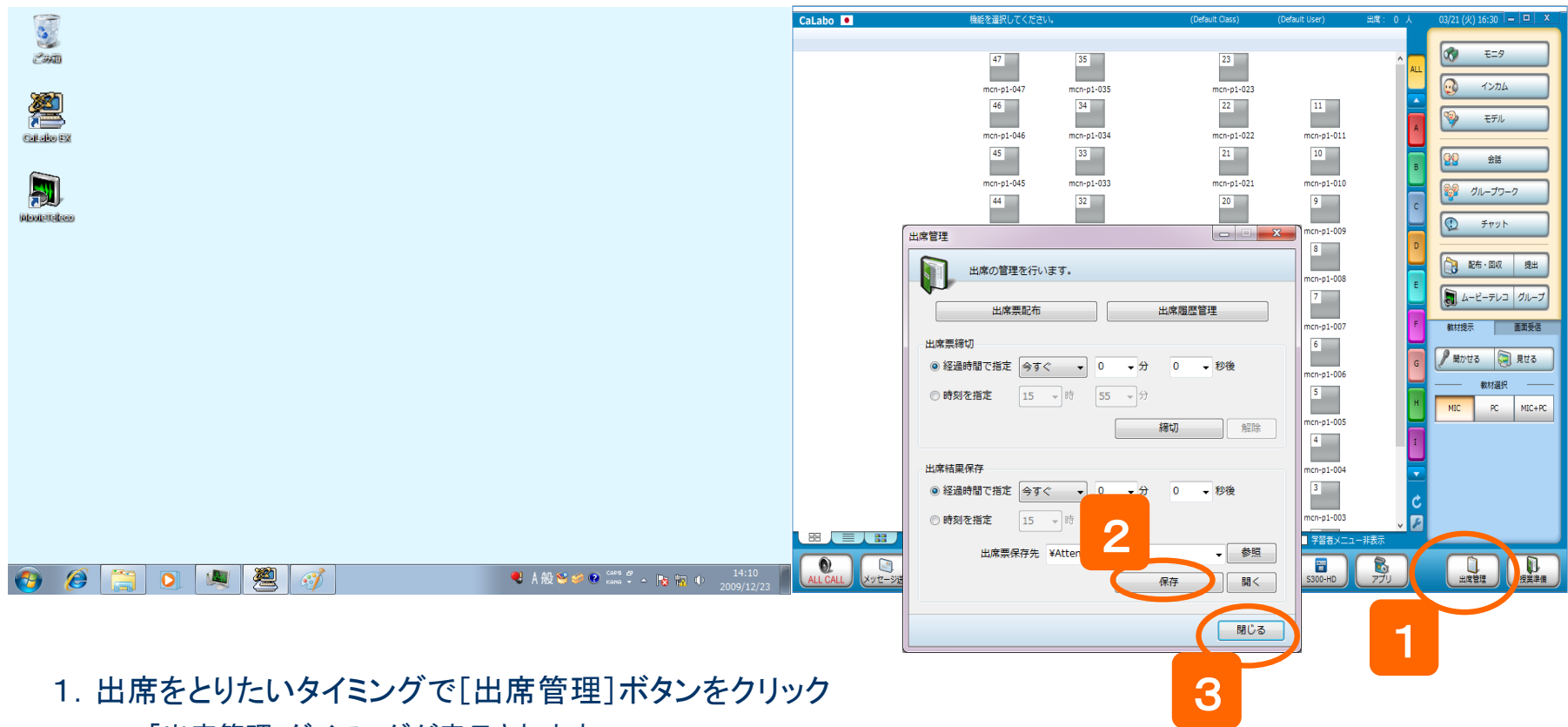
2. [開始]ボタンをクリック

⇒少しすると、座席ID・表示名欄に1人の学習者が表示されます。表示欄の背景がピンク色になります。

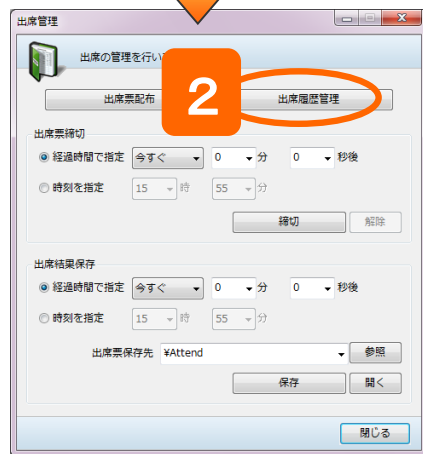
※ 抽選後に[インカム] / [モデル]ボタンをクリックすると、対象者とインカムする / 対象者をモデル元にする
ことができます。

※ 特定の学習者(複数)の中から選びたい場合、対象となる座席アイコンを選択状態にします。
(現在出席中の学習者全員の中から選びたい場合は、特に選択する必要はありません)

CaLaboのシステム終了時及び授業開始後30分経過で自動的に出席状況がMYDOCUMENTに保存されます。
手動で保存する際は、下記の方法にて保存が可能です。



1. 出席をとりたいタイミングで[出席管理]ボタンをクリック
⇒「出席管理」ダイアログが表示されます。
2. [保存]ボタンをクリック
⇒ 決められたパスに、現在の日時のファイル名がついた出席結果ファイルが保存されます。
3. 授業にもどる場合は[閉じる]ボタンをクリック



1. コントロール画面の[出席管理]ボタンをクリック ⇒ 「出席管理」ダイアログが表示されます。
2. [出席履歴管理]ボタンをクリック ⇒ 出席履歴管理ツールが起動されます。
3. [設定]ボタンをクリックし、出席履歴ファイルが保存されているパスを指定
4. 対象となるクラスを選択
5. [集計開始]ボタンをクリック ⇒ 出席簿が表示されます。



ボタン名称	機能の概要
プログラム起動	指定したプログラムを一斉に起動します
IE一斉コントロール	指定したWebサイトを一斉に起動します
ホワイトボード	グループでホワイトボードを共有し、皆で描き込めます
Webサイト禁止・許可	Webサイトへのアクセスを制限します
プログラム禁止・許可	プログラムの起動を制限します
デスクトップ録画	先生画面の操作手順を録画し、学習者に渡せます
タイマー制御	指定した時間経過後、メッセージ送信や画面ロック／解除します
アナライザー	アナライザーを実施し、その場で結果を表示します
小テスト	テスト用紙形式の小テストを作成し、一斉に実施、その場で結果を把握できます

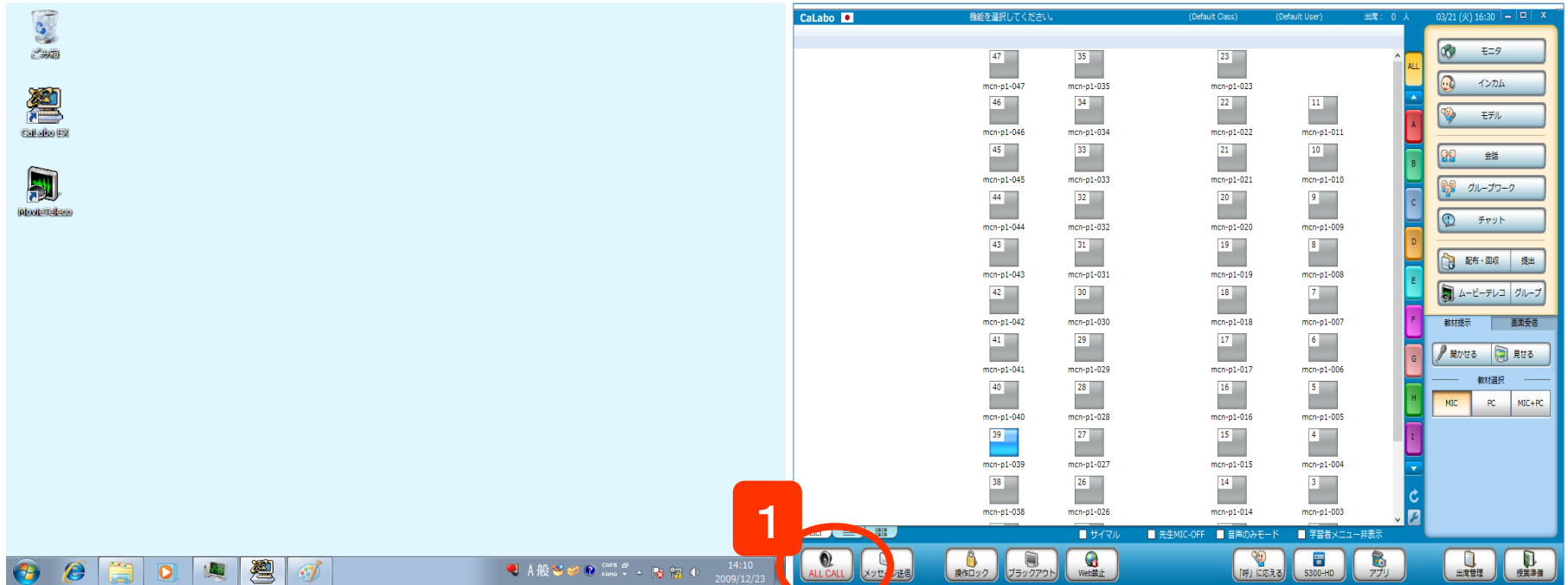
CHleru

CaLabo EX v8.0 簡易マニュアル(音声使用時)

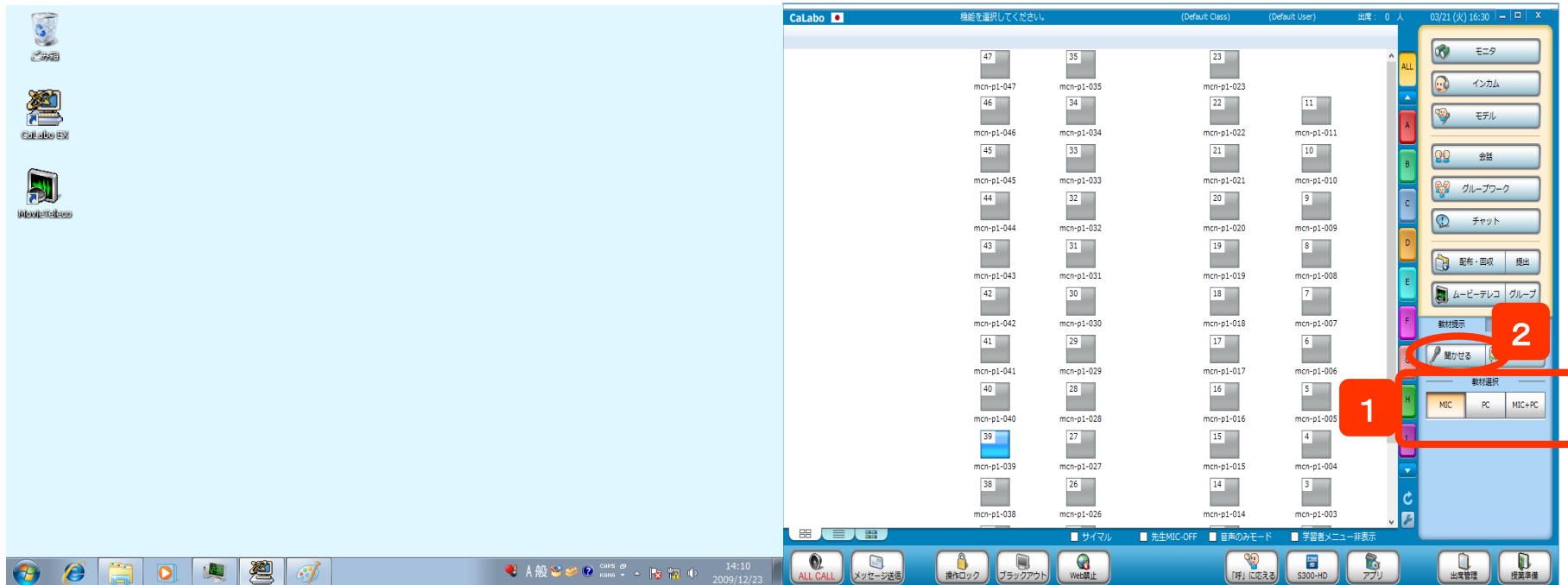
チエル 株式会社

主に音声教材を主体に授業をされる場合にご活用ください

全員のヘッドセットに呼びかける (ALL CALL)

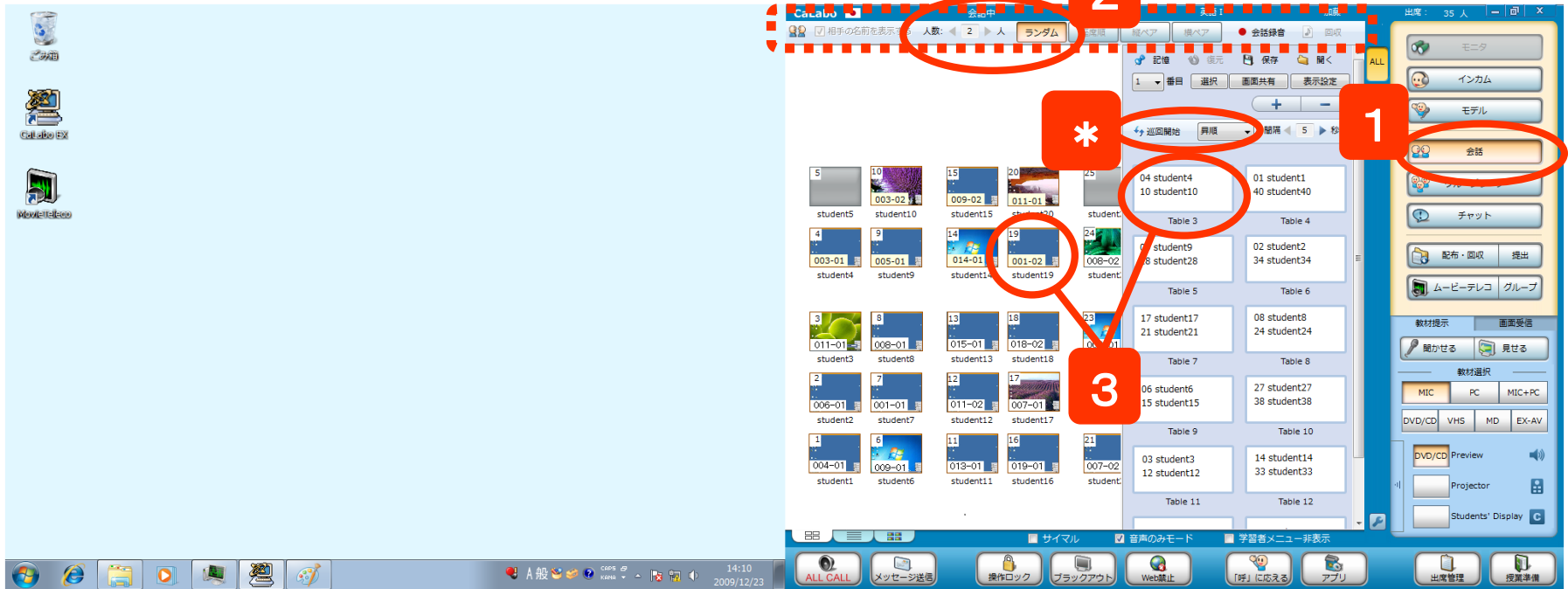


1. [ALL CALL] ボタンをクリック
⇒学習者のヘッドセットに先生マイク音声聞こえます。
 2. 解除するには、[ALL CALL] ボタンを再度クリック
- ※ [ALL CALL]は常に出席者全員が対象です。



1. 「教材提示」パネルから、聞かせたい音声のボタンをクリック
2. [聞かせる]ボタンをクリック
⇒ 学習者のヘッドセットに選択した音声が届きます

ペア (または3~8人) で会話をさせる



1. [会話]ボタンをクリック
⇒クラスエリアにTableエリアが表示されます。
2. サブメニューで、人数を指定し、[ランダム] または [座席順] (もしくは [縦ペア] [横ペア]) ボタンをクリック
⇒Tableが表示され、学習者は会話できる状態になります。
3. Table または 座席アイコンをクリックすると、会話音声を聞くことができます。

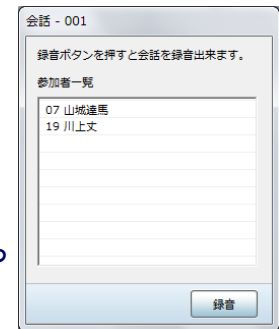
モニタ対象を切り替えるときは、ほかのTable または 座席アイコンをクリックします。

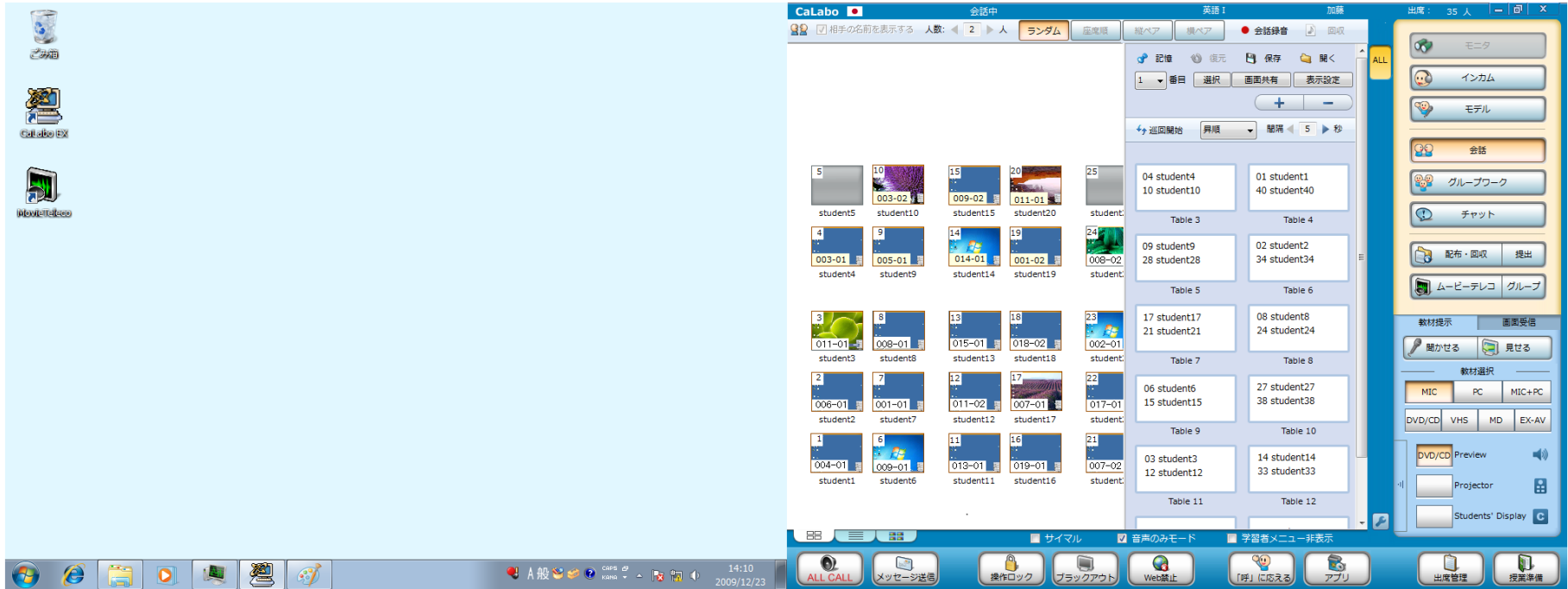
* [巡回開始] をクリックすると、Table番号の昇順／降順に自動で順次モニタできます。

学習者画面

会話ウィンドウで会話相手を確認できます。

※ お互いの名前を表示しないためには、手順2. でサブメニュー「相手の名前を表示する」のチェックを外してからボタンをクリックします。
(匿名モード)





2通りの方法があります。

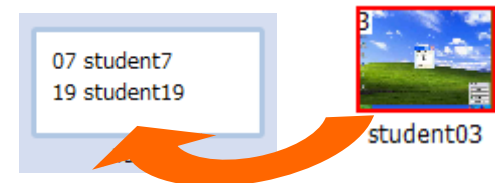
(A) 会話中に

Table内の学習者名をドラッグ&ドロップして組み替え



(B) または、座席アイコンをTableにドラッグ&ドロップして組み替え

※ 会話実行時には出席していなかった学習者(遅刻者)の座席をドラッグ&ドロップで会話に加えることができます。



ムービーテレコの機能

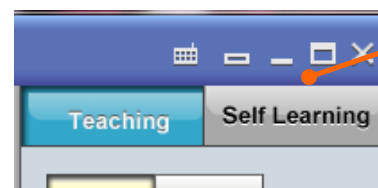
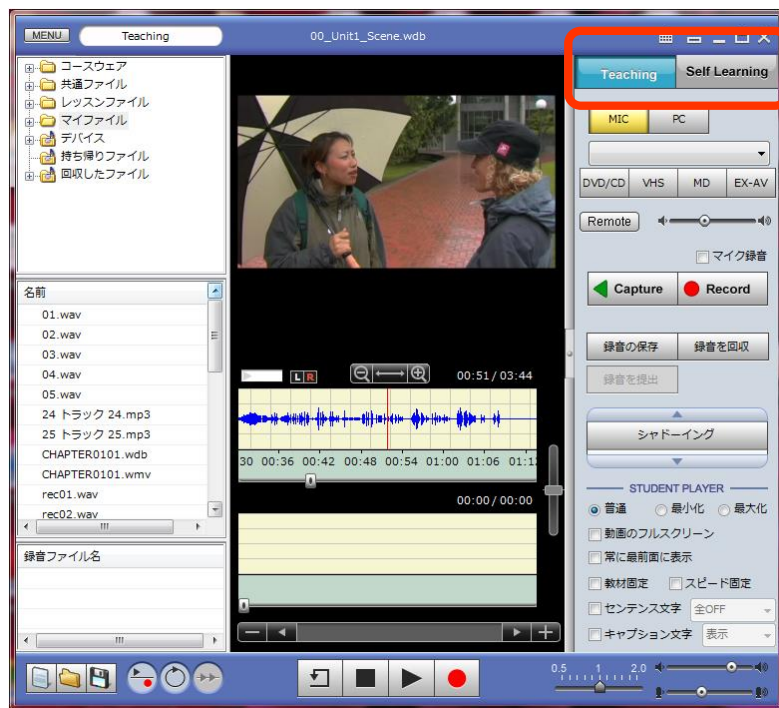
- (1) AV機器の映像／音声をキャプチャ／録画・録音し、ファイル化する
- (2) 先生の制御でシャドーイングや通訳練習する(Teachingモード)
- (3) 学習者自身が操作し、個別に練習する(Self-Learningモード)

The screenshot shows the CHleru software interface with several components labeled in Japanese:

- モード切替ボタン** (Mode Switch Button): Located at the top right, with buttons for "Teaching" and "Self Learning".
- 映像表示** (Video Display): The central video window showing a scene with two people.
- 教材フォルダ** (Lesson Folder): A tree view on the left showing folders like "コースウェア", "共通ファイル", "レッスンファイル", and "マイファイル".
- サブタイトル表示** (Subtitle Display): A text area below the video showing subtitles: "bother you. Could you help me? I'm looking for Old Main Hall."
- 教材リスト** (Lesson List): A list of files below the subtitle display, including "01.wav" through "05.wav", "24トラック 24.mp3", "25トラック 25.mp3", and "CHAPTER0101.wdb".
- 教材波形表示** (Lesson Waveform Display): A waveform visualization below the lesson list.
- 録音波形表示** (Recording Waveform Display): A waveform visualization at the bottom of the main window.
- テンポラリ録音リスト** (Temporary Recording List): A list at the bottom left for recording files, with entries like "rec01.wav" and "rec02.wav".
- キャプチャ／録画** (Capture/Recording): Buttons for "Capture" and "Record" on the right panel.
- 録音保存／回収／提出** (Recording Save/Retrieve/Submit): Buttons for "録音の保存", "録音を回収", and "録音を提出" on the right panel.
- シャドーイング** (Shadowing): A button on the right panel for shadowing practice.
- STUDENT PLAYER** (Student Player): A section on the right panel with playback controls like "普通", "最小化", "最大化", and checkboxes for "動画のフルスクリーン", "常に最前面に表示", "教材固定", "スピード固定", "センテンス文字", and "キャプション文字".
- 操作ボタン類** (Operation Buttons): A row of playback controls at the bottom, including play, stop, and volume sliders.

ムービーテレコには先生がコントロールして一斉に学習するTeachingモードと、学習者にファイルを教材を配布して個別学習させるSelf Learningモードの2つの使い方があります。

(Teachingモードのムービーテレコでは、学習者は再生や停止などの操作はできません。)



「Teaching(一斉学習)」と「Self Learning(個別学習)」をタブのクリックで切り替えます。
※選択されているほうが「青色」

先生の操作で一斉に見せる(聞かせる)

1. 全員にムービーテレコを起動

→ 起動直後は「Teachingモード」です。操作を先生のコントロールで行います。

2. 教材ファイルを読み込む。⇒ 操作はP.35参照。

その教材を配って各自で学習させる

3. そのまま「Self Learning」をクリックします

→「Self Learningモード」に切り替わります。「Teachingモード」で開いていた教材が配布され、各自操作して学習することができます。

再度、先生の操作に戻す

4. 「Teaching」をクリックします。

→「Teachingモード」に戻り、先生のコントロールでムービーテレコを操作します。

■ Teachingモードで使用する例

- ・先生の操作でクラス全員で音声を聞く・動画を見る
- ・先生の操作で学生全員の声を一斉録音し、音声を回収する

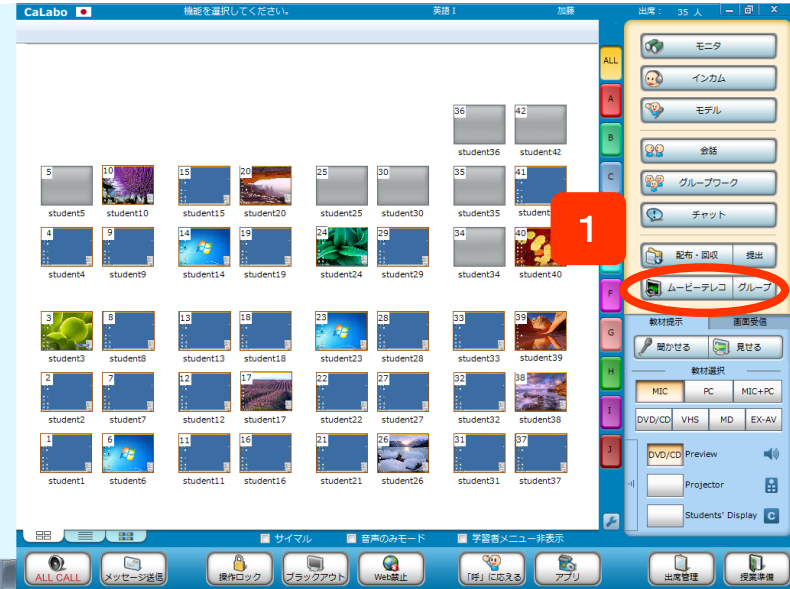
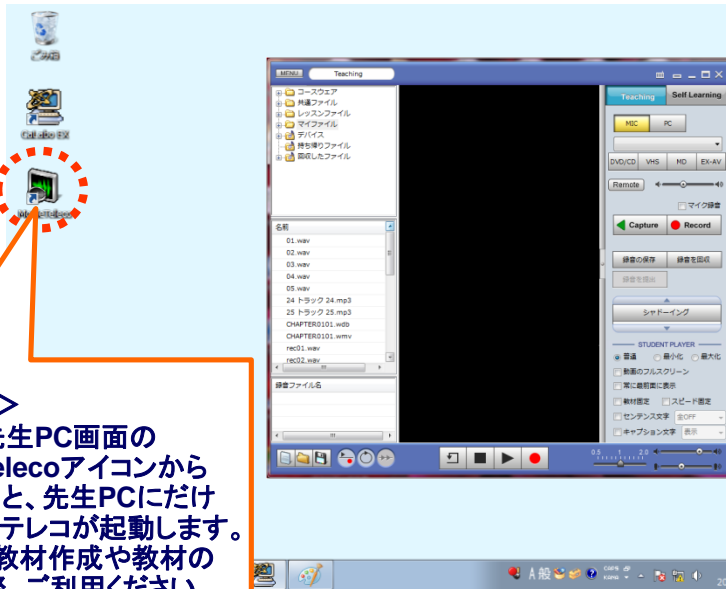
■ Self Learningモードで使用する例

- ・学習者に教材を配布、各自のペースで音声を聞く・動画を見る
- ・学習者各自で自分の声を録音する。

ムービーテレコの起動と終了

【先生PC画面】

【コントロール画面】



起動

1. コントローラ画面の「ムービーテレコ」ボタンをクリック
- ⇒ 先生PCとログインしている全ての学習者PCにムービーテレコが起動します。

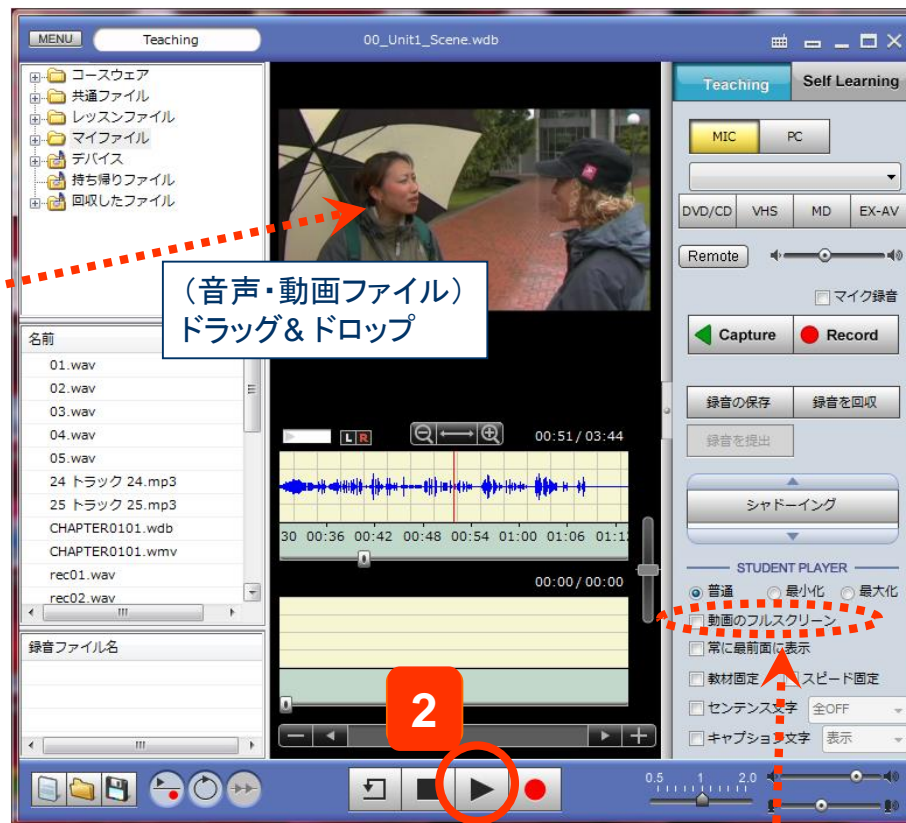
終了

1. コントローラ画面の[ムービーテレコ]ボタンをクリック
2. 「学習者のムービーテレコを終了しますか？」で「はい」をクリック



⇒ 先生PCと学習者PCの全てのムービーテレコが終了します。「いいえ」を選択した場合、先生のムービーテレコだけが終了し、学習者のムービーテレコは終了しません。

動画ファイルや音声ファイルを学習者ムービーテレコに配信して見せます。(学習者は操作できません。)



1. 教材ファイルをムービーテレコにドラッグ&ドロップ

※または教材フォルダを選択、教材リストで教材をダブルクリック

⇒ムービーテレコに教材ファイルが読み込まれ
動画や音声の波形が表示されます

<読み込み可能なファイル形式>

動画ファイル: MPEG1, WMV

音声ファイル: WAV, MP3, WMA

2. [再生ボタン]をクリック

⇒読み込まれた教材ファイルの動画や音声
先生と学習者に流れます。

【ムービーテレコのコントロール】

① ② ③ ④



①教材の2秒巻き戻し

⇒再生中にクリックすると教材を2秒戻す

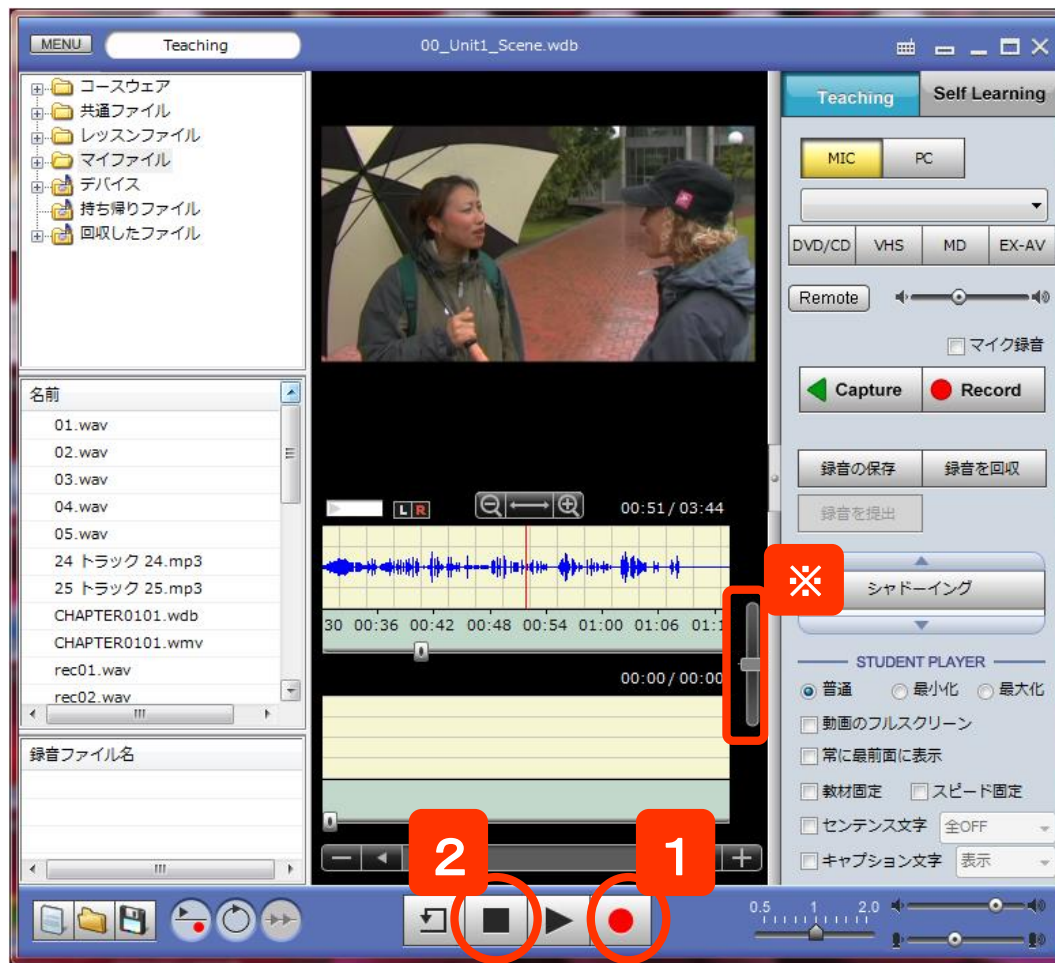
②停止

③再生

④録音

⇒教材を再生しながら学生のを録音

ファイル化した教材を使い、先生のコントロールで学習者にシャドーイングや同時通訳練習させます。
学習者の音声は自動で録音されます。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)



1. 教材を開いた状態で[録音]をクリック

⇒ 教材を再生し、同時に学習者のマイク音声を録音します。

※ 教材は、次のいずれかで開きます。

- ・AV機器の映像・音声を取り込む
- ・教材フォルダを選択、教材リストで教材をダブルクリック
- ・USBメモリ等で持ってきた教材ファイルをムービーテレコにドラッグ&ドロップ

2. [停止]をクリックして終了

※[再生]をクリックして録音音声を聞かせることができます。

※ 学習者は、バランスつまみを上下に動かし、教材と録音音声の音量を調整することができます。(バランスつまみは、先生ムービーテレコと同じ位置にあります。)

ファイル化した教材を使い、先生のコントロールで学習者にリピーティングや逐次通訳練習させます。学習者の音声は自動で録音されます。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)



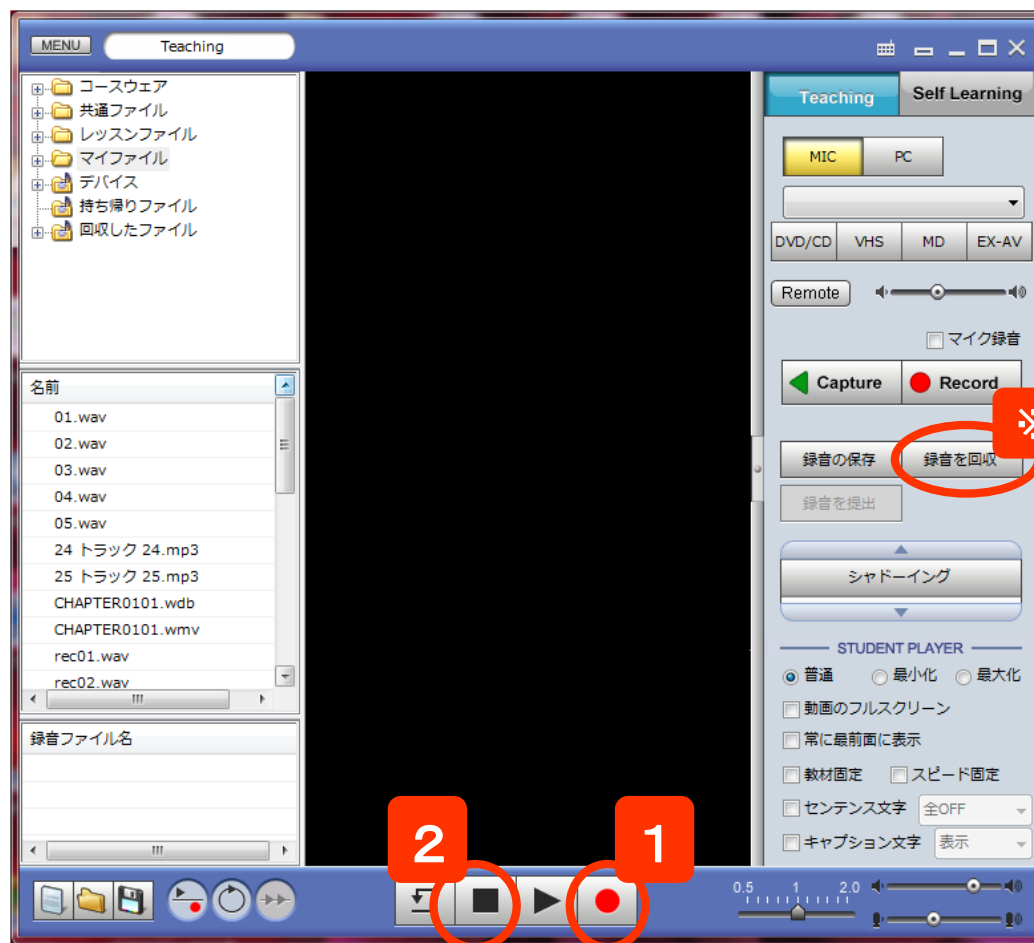
1. 任意の箇所をクリック、[+]をクリック
⇒ 波形にブックマークが作られます。
2. 画面内で右クリック、「設定」→「音声設定」を選択
⇒ 「音声設定」ダイアログが表示されます。
3. 「リピーティング時間を教材に合わせる」にチェック、録音の尺を選択、[更新]をクリック
4. [リピーティング]ボタンを押下、[再生]ボタンをクリック

⇒ ブックマーク位置まで再生、指定した尺で録音、次のブックマーク位置まで再生、指定した尺で録音...を繰り返します。

5. [停止]をクリックして終了

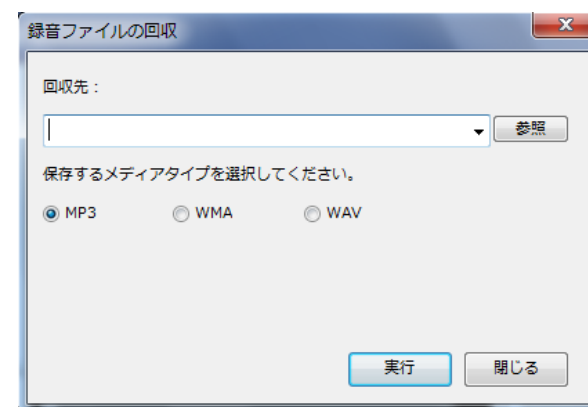
Teachingモードで読み上げ音声を録音

先生のコントロールで、学習者の読み上げ音声を一齐に録音します。
録音後に一括回収することもできます。



1. 教材を開かない状態で[録音]をクリック
⇒ 学習者のマイク音声録音を開始します。
2. [停止]をクリックして終了

※ [録音を回収]ボタンをクリックすると、学習者の録音音声を一括回収できます。



ムービーテレコ : Self-Learningモード

映像や音声の教材を使い、学習者の操作で個別に練習させる

先生が取り込んだ映像・音声や、自分で開いた教材を使って、学習者が各自操作して学習します。

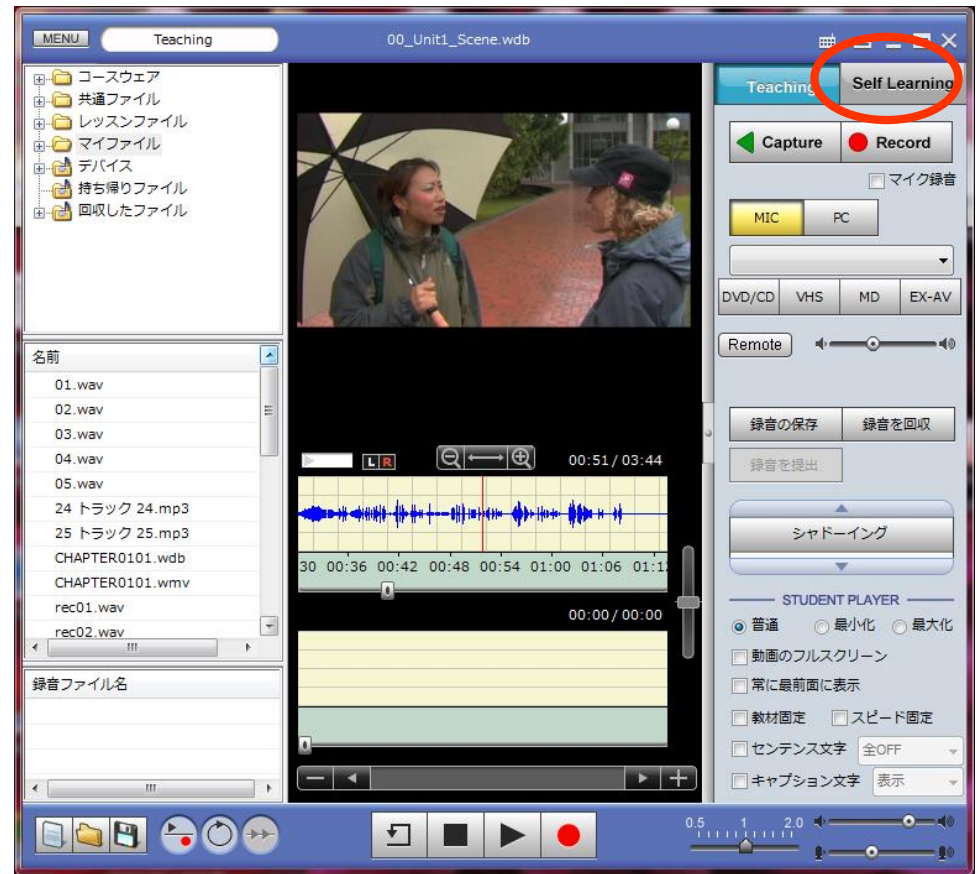
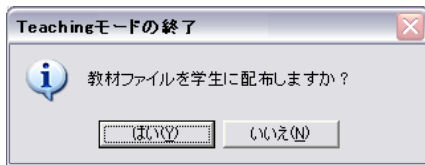
先生が取り込んだ教材を学習者に使わせるには・・・

先生用ムービーテレコ上で教材波形が表示されている状態で、[Self Learning]ボタンを押します。

→ 教材サーバが設定されている環境では、「レッスンファイルに登録しますか?」という確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
教材サーバに登録され、学習者PCではその教材が自動で開かれます。

※ ファイル名は自由に変更できますが、拡張子は変更しないでください。

→ 教材サーバが設定されていない環境では「教材ファイルを学生に配布しますか?」という確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
学習者PCに教材がコピーされます。



教材サーバに登録した教材を使わせるには・・・

[Self Learning]ボタンを押します。

→ 学習者は指示された教材を「教材フォルダ」から開きます。

ムービーテレコの使い方 (学習者向け(1) 一画面の説明)

学習者は各自が操作して教材を学習できます。

The screenshot shows the 'Self-Learning' application window with the following components and callouts:

- 【教材フォルダ】** (教材フォルダ): A callout pointing to the folder tree on the left. It states: "フォルダをダブルクリックすると「教材リスト」にフォルダ内の教材を表示します。" (Double-clicking a folder displays the materials inside it in the '教材リスト').
- 【教材リスト】** (教材リスト): A callout pointing to the list of files. It states: "教材タイトルをダブルクリックすると、教材が開かれ、上段に波形が表示されます。" (Double-clicking a material title opens the material and displays a waveform in the top section).
- 【一時保存】** (一時保存): A callout pointing to a save icon in the bottom right. It states: "録音後、音声を「テンポラリ録音リスト」に保存します。(一時的なもの)" (After recording, save the audio to the 'Temporary Recording List'. (Temporary thing)).
- 【再生 & 録音】** (再生 & 録音): A callout pointing to the play/pause button. It states: "教材音声を聞きながら、録音します。下段に波形が表示されます。" (Record while listening to the material audio. A waveform is displayed in the bottom section).
- 【テンポラリ録音リスト】** (テンポラリ録音リスト): A callout pointing to the '録音ファイル名' (Recording File Name) field. It states: "録音後に[一時保存]ボタンをクリックすると、一時的に保存できます。ファイル名をダブルクリックすると、下段に波形が表示されます。" (After recording, clicking the [Temporary Save] button allows temporary saving. Double-clicking the file name displays a waveform in the bottom section).

ムービーテレコの使い方 (学習者向け(2) - 教材を聞く・録音する)

学習者は各自が操作して教材を学習できます。

【再生開始位置の指定】

停止している状態で波形の中をクリックし、[再生]ボタンをクリックするとその位置から再生を始めます。

【部分再生】

停止している状態で波形の中をドラッグで範囲指定し、[再生]ボタンをクリックするとその部分だけ再生します。

【音量バランス調整つまみ】

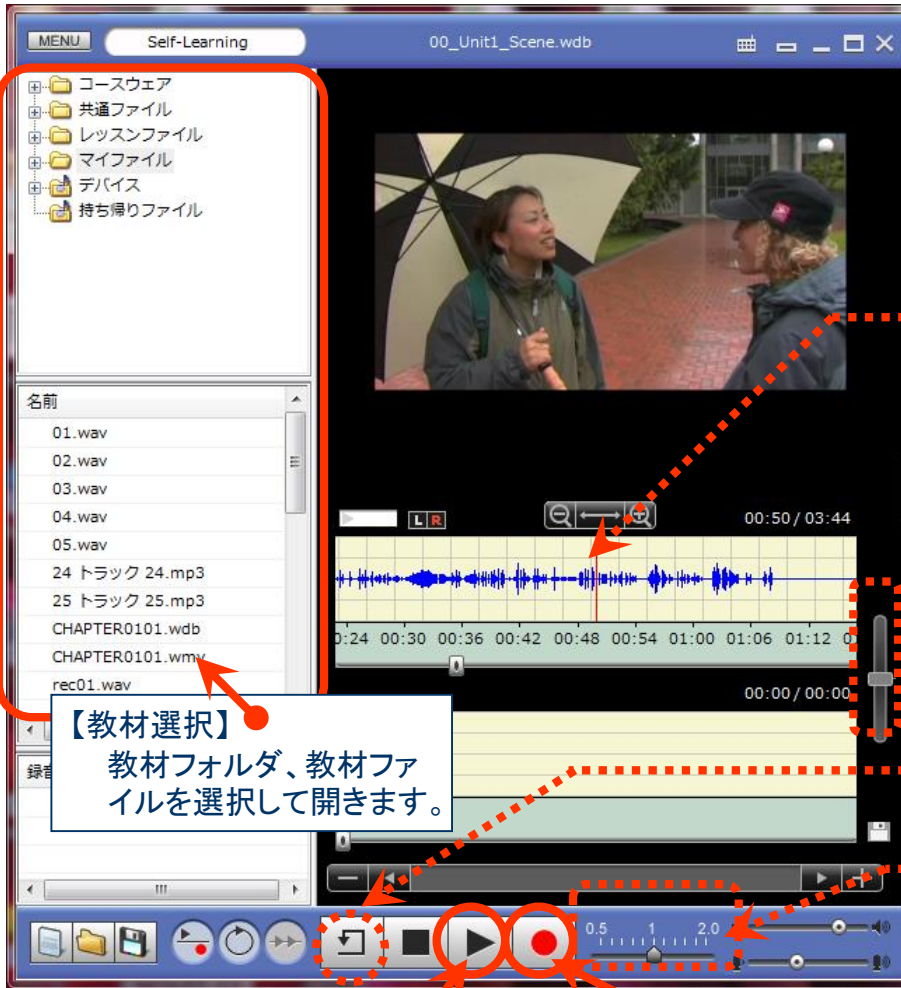
上に動かすと教材音声が大きくなります。
下に動かすと録音音声が大きくなります。

【巻き戻し】

再生中にクリックすると2秒もどって再生します。
※ 設定により、戻り時間が異なる場合があります。

【スピードコントロール】

教材音声の再生スピードを0.5～2.0倍速の間で調整して聞くことができます。



【教材選択】

教材フォルダ、教材ファイルを選択して開きます。

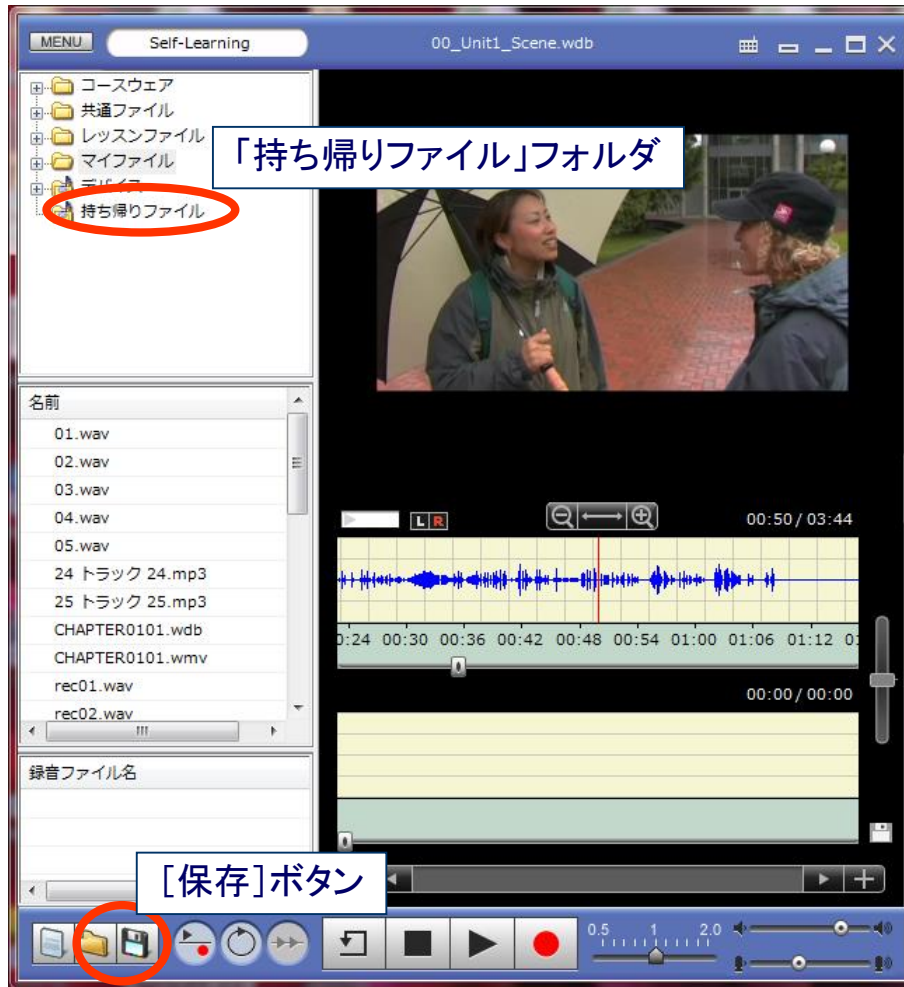
【再生 & 一時停止】

教材を再生します。(録音音声があれば同時に再生します。)
「スペース」キーでも操作可。

【再生 & 録音】

教材音声を聞きながら、録音します。
(シャドーイングや同時通訳など)

ムービーテレコの使い方 (学習者向け(3) —教材・録音した音声を保存する)



教材・録音した音声をファイルに保存します。

[保存]ボタンをクリックします。

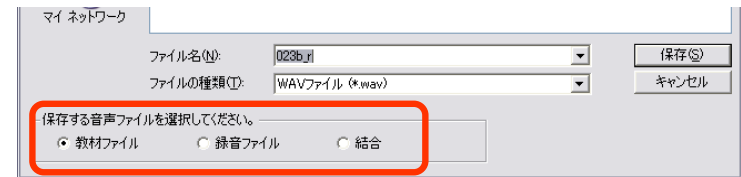
⇒「名前をつけて保存」ダイアログが表示されます。

「ファイルの種類」を選択します。

保存できるファイルの形式は5種類(wdb, wav, mp3, wma, wmv)です。

※wdbはムービーテレコ独自の形式、wav,mp3,wmaは音声ファイル形式、wmvは動画ファイル形式です。

音声ファイルの保存(「wav」「mp3」「wma」)を選択した場合、「教材ファイル」「録音ファイル」「結合(教材音声と録音音声のミックス)」の3つから保存する音声を選びます。



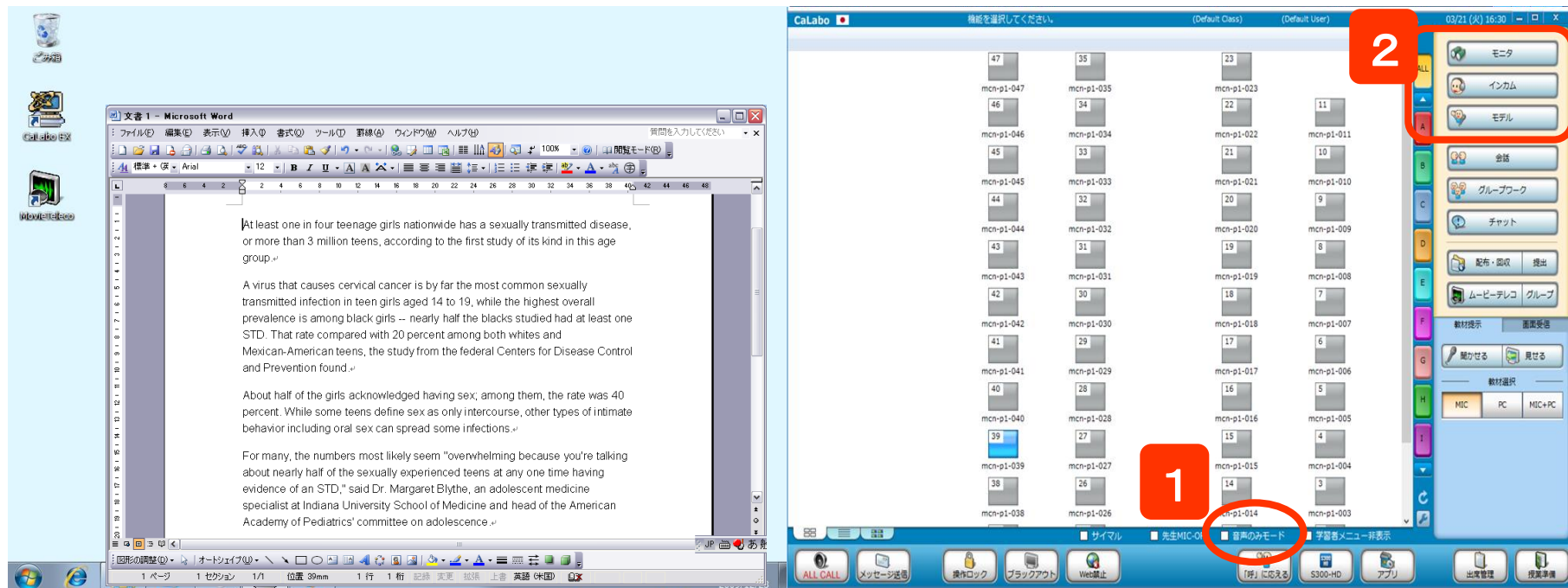
保存先のフォルダとファイル名を指定して保存します。

⇒指定先に保存されます。

※「持ち帰りフォルダ」に教材をドラッグ&ドロップすると、持ち帰り用ムービーテレコといっしょに保存されます。

「音声のみ」(モニタ/インカム/モデル)

[モニタ] [インカム] [モデル] 機能は画面と音声を同時に扱いますが、これらの機能を実行する前に「音声のみモード」にチェックを入れておくと、音声だけの機能になります。



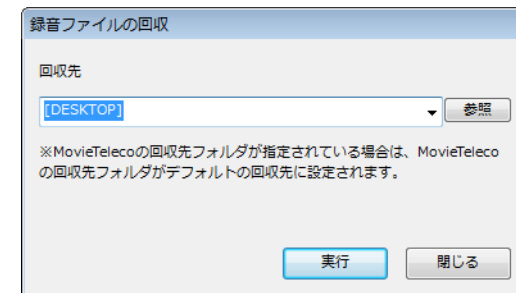
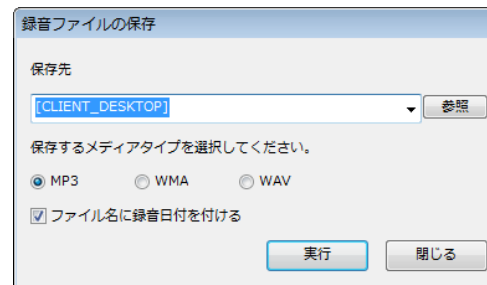
1. クラスエリアの下の「音声のみモード」にチェック
2. [モニタ] [インカム] [モデル] 機能を実行(各手順に従う)

※ 機能の途中で「音声のみ」「画面・音声同時」に切り替えることはできません。



会話録音・回収

: 先生の操作で学習者間の会話を録音、ファイルとして保存できます。また、保存後、先生側に一括で回収することもできます。



記憶・復元

: 会話相手を組み替えた場合など、その組み合わせをいったん保存し、他の活動をさせた後、再度その組み合わせで会話させることができます。(授業内)

保存・開く

: 次回の授業で同じ組み合わせで会話させたい場合など、組み合わせを保存し、次の授業で組ませることができます。(授業をまたいで可)



選択

: ペアの一方だけを選択してファイルを配布したい場合などに、各Tableから1名だけ選択状態にすることができます

画面共有

: 会話中、Table内の1名の学習者パソコンの画面を他のメンバーと共有することができます

1. プルダウンメニューをクリックし、数字(上からn番目)を指定
2. [選択]をクリック ⇒ 指定した学生(上からn番目)だけが選択されます。
※ペアの一方だけを選択してファイルを配布したい場合などに使用します。
[画面共有]をクリック⇒ 指定した学生(上からn番目)の画面をTable内のメンバーで共有できます。